

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62年 7月 10日

調査者氏名

関 英男 大 芝 博 明

87006

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ザンビア	(現地公用語) Animal Husbandry (日本語) 141 家畜飼育	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	63年12月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Office of the Prime Minister (日本語): 総理府					
② 隊員勤務先名称: Kitwe District Council 日本語名称(ホトケ市役所) 所在地: Kitwe 主要都市(Lusaka)から350キロ					
③ 事業規模及び内容: 面積12000ha. 牛800. 豚7. 山羊90. 鶏 現在放牧地造成中. その他"ミス"野菜も栽培している。敷地の 85%以上はBush. ここに肉牛が放牧されている。ワーカー約20名					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 事務所 トラクター2台 D1ptank 2. ディスク705ウ ディスクハロー. ディーゼルポンプ2台					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 市役所付農業技術(家畜飼育)スーパーバイザー(監督者)					
② 技術の範囲: 牛. 豚の日常一般管理. 治療や屠殺を行なう。野菜栽培 放牧. 草地に関する技術も必要と思われる。					
③ 業務の形態: 実務中心. 現在. 乾期中の飼料確保の為 草地造成を行 なっており 農場開発プロジェクトが最も大きなものもある。その他 鶏 (ブロイラー) 豚の生産性向上 経営の合理化も仕事のうちの大きな もののひとつといえる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 農業専門学校を卒業した 技術者 31才. 実務経験7年(主に牛)					
⑤ 現地で利用できる機材: トラクター2台 豚体重量計 揚水ポンプ707-4N-3					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し					
⑦ 使用する言語: 英語 ザンバ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
① 農業系の高等教育機関卒業者(農業大学校. 短大. 大学)					
② 実務経験1~2年以上が望ましい。交渉能力のある人					
※ 事務局記入 場長代理の為英語能力が問われる。					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62年 6月 1日

調査者氏名 水野右寿 大芝博明

87007

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ガambia	(現地公用語) Agricultural Science Teacher (日本語) 1A/ 家畜飼育(教師)	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	年 月 63 7	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of General Education and Culture (日本語): 一般教育・文化省					
② 隊員勤務先名称: Petanke Secondary School・日本語名称(ペタンケ中等学校) 所在地: Earstern Province Petanke 主要都市(チンブ)から180キロ					
③ 事業規模及び内容: 生徒数約1400人 教師数45人, クラス28, 附属農場10ha 畜舎のセカンダリースクールで: 農業科学附属農場の経営管理, 生徒への指導					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 鶏舎4棟(鶏2000, 採卵鶏200), 豚舎1棟(約30) アヒル舎1棟(約100) Xイス畑(10ha) 農具 教室 農業科学実験室					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 農業科学教師					
② 技術の範囲: 養鶏, 養豚 及び その経営管理, 畜舎建設が中心。					
③ 業務の形態: 農業科学実習用畜産部門の経営管理 及び 生徒への実習 が中心。週に10時間程度の授業と1日2~3時間の実習を行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 生徒(grade B~12, 13才~19才) ガambia人教師はカレッジで農業科学を専攻し卒業している。					
⑤ 現地で利用できる機材: 農具 (クワ, オノ, カマなど)					
⑥ 第3国人等の配置状況: イギリス人(1), 南アフリカン(1) 日本人(JOCV, 1)					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ペタンケセカンダリーは現在, 自給自足を目的とした プロジェクトを行っている。その一環として, プロジェクトユニット(農業科農場) を拡張充実させ, 収益をあげることを第一の目的としている。学校側は 経営管理などの実務面を担当できる人材を求めている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○ 大学卒 ○ 養鶏, 養豚の知識, 実務経験を有すること。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

86-103

記入 昭和 62 年 8 月 25 日

調査者氏名 奥 村 浩 一

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
COLOMBIA	(現地公用語) CRIA DE CERDO	新規	(男) 1 人	1988年 3月	
	(日本語)	交替	(女) 人		
	141.家畜飼育(養豚)		(男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): FUNDAEC					
(日本語): 科学教育財団					
② 隊員勤務先名称: FUNDAEC CENTRO AGRO INDUSTRIAL 日本語名称(科学教育財団農業生産センター)					
所在地: ARROBLEDA 村 【本部=Cra.41 No.5-C-116 CALI】 主要都市(カリ市)から 55 キロ					
③ 事業規模及び内容: カリ州地域農民への農業技術振興にあっている機関である。50人のスタッフからなり、農業センターには12名が養豚(主に農民に優良品種子豚=年産 600頭の提供)、果実ジュースの生産(日産40kg)、大豆の生産(計画中)等を行い、収益を農民への農産振興への低利貸し付けに振り向けている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい)カリ市に本部庁舎、ARROBLEDA 村に農業生産センターを持つ。同センターには、養豚畜舎及び養豚関係機種機材、ジュース生産設備、大豆用栽培農場を持つ					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 養豚技術指導員					
② 技術の範囲: 養豚関係技術一般					
③ 業務の形態: 現在、畜産部門には3名の従業員が養豚、特に子豚の生産にあっているが、優良種の導入にあたって技術指導を中心に行う。特に、子豚配布先農家への技術巡回指導も重要な業務となる。勤務時間は午前8時から午後5時までである。現在年産 600頭の子豚生産規模であるが、将来更に拡張する計画であるが、獣医を始め、技術者が不足しており、その指導も併せて行う(技術者養成)。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 現在検討中					
⑤ 現地で利用できる機材: 一応の養豚関係設備完備					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
④ 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 養豚関係技術経験者					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

87012

記入 昭和 62 年 9 月 10 日

調査者氏名 岸 忠士

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ニカラ共和国	(現地公用語) Cria de Animales Domesticos (日本語) 141 家畜飼育	新規 交替	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月 早期	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Instituto Agronómico San Ignacio de Loyola (日本語): サイグナシオデロヨア 農業学校					
② 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称()					
所在地: Dajabón 首都 主要都市(サトミンゴ)から 305 キロ					
③ 事業規模及び内容: 農場管理者の育成を目的として創立された農業教育機関で野菜栽培、生物、化学、動物学、植物学などと幅広い内容の授業と農業実習も含めて行っている。現在の生徒数は170名、卒業生は850名					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 教室棟、22ヘクタールの農場・飼育場					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 家畜飼育指導者					
② 技術の範囲: 家畜(牛、豚、山羊、羊)の飼育における、実践技術、飼料作成技術、経営学知識					
③ 業務の形態: 教室 130㎡ 22ヘクタールの面積をもつ実習農場において、家畜飼育(羊、山羊、牛、豚)と飼料作物の実践技術指導、簡単なテキストの作成、授業に用いた報告書の作成。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 生徒は初等教育卒業者以上で16~24才。カウンターパートは農業学部卒業者で25~30才					
⑤ 現地で利用できる機材: 牛舎、豚舎、その他飼料精製用機材、器具					
⑥ 第3国人等の配置状況: ドイツ人ボランティア(DED)1名が野菜指導に入っている					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
ダハボン地区にはダハボン州所在地があり日本人研修者が農業の発展に大きく貢献してきており、同農業学校においても日本人研修者子弟が数名卒業している。今後の発展のため日本の青年には技術指導を期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
大学農学部卒 用水の管理技術、農業機械の知識、家畜飼育経営についての知識					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 9 月 5 日

調査者氏名 坂 越 仁 志

87007

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
バングラデシュ	(現地公用語) Poultry (日本語) 142 養鶏	新規 交替	(男) 人 (女) 1 人 (男女不詳) 人	63年7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Department of Women's Affairs (日本語): 婦人局					
② 隊員勤務先名称: Agriculture Based Rural Development Project for Women 日本語名称(婦人・農村開発センター) 所在地: Panisail, Bara Bhubanipur, Gazipur 主要都市(ダッカ)から30キロ					
③ 事業規模及び内容: 民間の婦人更生センターに対し DANIDA が養鶏プロジェクトを援助していたものを1984年の婦人局に引き継いだもので // エーカーの敷地に飼料工場、孵卵場、鶏舎、野菜畑、池、等があり、現在25人の農村婦人が4ヶ月コースの研修中である。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 敷地4.62ha 事務庁、教室、飼料工場、倉庫、孵卵場、1棟の鶏舎、発電機室、深井戸、職員住宅、研修専用バス、夜警小屋、池(0.28ha) 野菜畑。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 養鶏技士					
② 技術の範囲: 孵卵、音雛、ブロイラー、採卵鶏、飼料の改良等養鶏場の管理指導を主として、農村婦人に鶏の飼育方法を教える。					
③ 業務の形態: 午前9時から12時迄研修中の農村婦人に鶏の世話(実習)を指導し、12時30分から午後3時迄、教室で養鶏に関する授業をおこなう。なお、授業は成人教育なので、研修生は栄養、育児、家族計画、家計簿、保健衛生等色々な科目を勉強する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: マネージャーは大学畜産学部卒で養鶏専攻、ポトリ・テクニシャンは9年間の養鶏場で働いている。対象者は土地無し農村婦人					
⑤ 現地で利用できる機材: 飼料工場、孵卵機14台(孵卵場)、鶏舎13メートル×52メートル10棟、325メートル×40メートル棟、深井戸等。(デンマークの機材が多い)					
⑥ 第3国人等の配置状況: 以前デンマーク人が指導した。深井戸はオランダの援助。現在は無し					
⑦ 使用する言語: ベンガル語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国は国民の大多数が回教徒ということもあり、女性の社会進出はまだ少ない。土地無し農民に養鶏の指導をすることにより、農村部で現金収入の道が開けるといふことは、十分望ましい。農村婦人の生活向上に役立つものと期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
経験 2年以上					
孵卵、音雛、ブロイラー、採卵鶏 と ひととおり、経験を有する人					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

006

記入 昭和 62 年 8 月 11 日

調査者氏名 大池 雄二

22987005

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ガーナ	(現地公用語) Poultry farming (日本語) 養鶏	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	63年3月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Agriculture, Dep of Animal health and Production (日本語): 農業省 獣医学産局					
② 隊員勤務先名称: Veterinary College 日本語名称(獣医大学) 所在地: Pong-Tamak N/R 主要都市(タマレ)から30キロ					
③ 事業規模及び内容: 上記大学所属の養鶏場において、コマーシャル鶏の 7化を行う					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 成鶏舎2、育ち舎1、7化場1					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 大学職員, Veterinary Technical officer					
② 技術の範囲: 種鶏の育ち、育成及び7化業務に肉する知識と 要す。					
③ 業務の形態: 大学の附属農場において 学生、Technician に対して 養鶏技術の指導 (種鶏ほけプラン、前回は、デカルブ-G-リング)					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
Veterinary Technical Officer (Senior) 41才 例) スの大学で養鶏を学ぶ					
⑤ 現地で利用できる機材:					
ビーター、サイロ式孵化器 4台、検卵器、くん蒸機、パフ、ワッシャー、フィーダー(各 計)(10kg, 8kg, 2kg, 200kg) その他。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし。					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
主として学生実習指導に於いて、学生に養鶏技術と信頼させる 蛋白質供給源としての卵、肉の増産を期している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
1. 大学卒 2. 経験 2年程程度が、ナシ。					
3. <input checked="" type="checkbox"/> 獣医					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 3 月 20 日

調査者氏名

奈良 輪 陸 美

243-86-101

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マラウイ	(現地公用語) POULTRY (日本語) 142 養鶏	新規 <input checked="" type="radio"/> 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1 人	62年12月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): MINISTRY OF AGRICULTURE (日本語): 農 業 省					
② 隊員勤務先名称: BWEMBA POULTRY CENTER 日本語名称(ブエンバ農場)					
所在地: リロンゲ 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: 国民に低廉で良質の蛋白質を供給することを目的に、育成舎9棟で 72000羽収容可、毎回8,000羽入(年20回)の餌付け育成を行う。 鶏種: ブラックオーストラローフとトカイ					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 輸送用トラック, 動力噴霧器, プラスチック・コンテナ, 餌用倉庫					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: TECHNICAL OFFICER (農場長に近く地位)					
② 技術の範囲: 養鶏一般					
③ 業務の形態: 雛の入雛(餌付け), 育雛育成, ワクチネーション, 出荷を通じて助言を与える。 具体的には、日常業務の中で温度、湿度、換気に気をつかいながら、羽数に合った、 給餌、給水器を用意し、雛のバラツキを防ぐ等である。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 高校卒業で30~40才、実務経験も7~10年 のTECHNICAL ASSISTANTがいるが、専門的知識に欠ける。					
⑤ 現地で利用できる機材:					
⑥ 第3国人等の配置状況: 隣接する農場に家禽飼育の隊員					
⑦ 使用する言語: 英語, チェワ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 将来的に、孵卵機を設置予定であり、前部の拠点のシロンゲに かいては隊員作成の孵卵機が活躍中であるため、2代目の養鶏隊員として、孵卵化場建 設を推進するため不可欠な存在となる。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 1. 実務経験3年以上 2. 最低限の電気動力 に関する知識					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 9 月 15 日

調査者氏名 マラウイ事務所長
奈良輪 龍彦

243-27-004

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名
マラウイ	(現地公用語) Poultry (日本語) 142 養鶏	新規 <input checked="" type="radio"/> 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1 人	63 年 8 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): 農業省 畜産振興局 (日本語): Ministry of Agriculture Dept. of Veterinary Services					
② 隊員勤務先名称: Mikolongwe Poultry Center 日本語名称(ミコロングエ農場) 所在地: ミコロングエ 主要都市(トランクイ)から 30 キロ					
③ 事業規模及び内容: 種鶏舎 5 棟 4,000 羽収容. 採卵鶏舎 6 棟 5,000 羽収容. 育成舎 8 棟. プラットオーストラロー種の卵孵化. 及び 6 週迄まで育雛とその配給, 食卵の生産と出荷.					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 立体育雛器(9,000 羽) 傘型育雛器 10 台(各 1,000 羽用), 卵孵卵機 4 台 (英国製 3 台, 日本製 1 台) 各 8,000 入卵可. 輸送用トラック					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 農場長, 養鶏部門 4-7 次, 養鶏部門の管理担当者					
② 技術の範囲: 養鶏一般, 機材に関する知識					
③ 業務の形態: 種卵の採取, 卵孵化, 育雛育成, 採卵鶏の管理にわたる全般的アドバイザーとしての業務がある. また中部地域の養鶏隊員と協力, 農場同士の協力効果を高めに行く. 前任隊員(歴代) 卵孵化機を制作しており: 電気関係の知識の活用が要請される場合がある.					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 高卒, 30~40 才, 経験 6~7 年の Technical Assistant.					
⑤ 現地で利用できる機材: 上記 ④ 参照.					
⑥ 第 3 国人等の配置状況: デンマーク人 獣医師					
⑦ 使用する言語: 英語, シワ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 国民に安価で高質のタンパク源を供給することを目的とし全国的な養鶏ネットワークが切望されている. 率にも先代隊員の要請に答え, JICA の単独機材供与が実現する運びとなり, 国内での養鶏事業の中心 となっている本農場での隊員の役割は重要性を増している.					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ① 高卒, 実務 4~5 年, 又は大卒実務 2 年 ② 電気関係の知識					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 9 月 8 日

87001

調査者氏名 野呂元士

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ドミニカ共和国	(現地公用語) avicultura	新規	(男) 1 人	63年 5月	
	(日本語) 142 養鶏	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Instituto Agrario Dominicano (IAD)					
(日本語): ドミニカ農地庁					
② 隊員勤務先名称: IAD. Bonao 日本語名称(ドミニカ農地庁ボナオ支所)					
所在地: Bonao 主要都市(Santo Domingo)から 88 キロ					
③ 事業規模及び内容: 4カ所に農場があり 2万羽収容のブロイラー鶏舎が2カ所 1万三千羽収容ブロイラー鶏舎が1カ所, 2000羽の採卵鶏舎(予定)1である。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): すべてが開放鶏舎でコンクリート床である。 最初の1週間の保温が問題である。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 養鶏技術者					
② 技術の範囲: 一般的な飼育管理技術(自家配合, 病気の予防・治療も含む)					
③ 業務の形態: 4カ所の鶏舎を巡回し, 飼育管理について指導する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: カウンターパートはいず。対象者の 労働者(20名ほど)たちの中には, 文盲が多い。計算ができるのは5名ほどで20才~65才である					
⑤ 現地で利用できる機材: 動力噴霧器, 飼料攪拌機, ドラム缶のセストン (問題あり), 自動給水器, 給餌器, 温度計, 計りなど					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: スパイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: IADには養鶏の専門家がいなくプロジェクトの指導者が必要なため。 ニワトリの増産 病気予防技術の確立, その他 管理の技術指導を 期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○(実務経験) 農業高校卒か大学で養鶏について 学んだ人が望ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

3/3

記入 昭和 62年 9月 10日

調査者氏名 E.P.A.J.F.K 水原 義平

87-038

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ホンジュラス	(現地公用語) Avicultura (日本語) 養鶏 142	新規 (男) 交替 (女) (男女不別)	15人	63年 9月	

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): Ministerio educación pública, Dirección de educación pública
(日本語): 文部省 技術教育局

② 隊員勤務先名称: Escuela de Agricultura "John F. Kennedy" 日本語名称(海・I7. 777管理科)
所在地: San Francisco, Atlántida 主要都市(La Ceiba)から 40キロ

③ 事業規模及び内容: 生徒数420名 教員数28名 ホンジュラスにある農業教育機関のなかの
5つの中等教育機関 男子全寮制 学校敷面積 200ha 程度
年間予算 800,000レコウ(万レコウ) (職員給与も含ま)

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 教室, 事務所, 学舎, 食堂, 講堂, 図書館,
生物, 化学, 土壌の実験室, 基礎的な農業機械.

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 養鶏 相当 教官
② 技術の範囲: 養鶏 全般

③ 業務の形態: 午前中 6時30分より11時まで行われる養鶏に関する
実習を指導しつつ生産を援助他 午後は授業を行う

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 大卒 34歳 獣医である

⑤ 現地で利用できる機材: 鶏舎(平飼用) 2棟(480m²), 給餌器,
給水器, etc.

⑥ 第3国人等の配置状況: なし

⑦ 使用する言語: スパイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:
日本の養鶏技術の移転

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):
大卒 養鶏専攻

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和62年 9月 5日

調査者氏名 堀 越 仁 志

86013

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
バングラデシュ	(現地公用語) Bee-keeping	新規	(男) 1人	63年7月	
	(日本語) 養蜂	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Bangladesh Rural Development Board (日本語): バングラデシュ農村開発局					
② 隊員勤務先名称: BRDB Khulna 日本語名称(BRDB คุルナ県事務所) 所在地: Khulna 主要都市(คุルナ市内) カ キロ					
③ 事業規模及び内容: バングラデシュの養蜂は一部NGOが指導しているが、野生蜜蜂の利用が主で、積極的養蜂はこれからである。郡中央協同組合をいとして、その傘下の組合で組合員に養蜂を教え普及することとする。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 事務所、教室、倉庫					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 郡事務所 所長と同格。					
② 技術の範囲: 野生蜂の利用、養蜂の紹介、基礎的技術の指導。					
③ 業務の形態: 協同組合の組合員に対して、農村での現金収入の道の一つである養蜂を教え、その普及活動を行なう。 UCCAでの同一国のトレーニングコースとデモンストレーションとしての養蜂を教へ所により、養蜂をF、という村を巡回指導してまわす。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: カウンターパートは大学生が事務の仕事中心で養蜂に関しては技術知識とに無い。対象組合員は野生蜂の蜜の採集は行なうが養蜂は未経験					
⑤ 現地で利用できる機材: 特になし。不足 巣箱が作れる程度					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: ベンガル語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
野生蜂の蜜採集は広くおこなわれているが、職業として蜂を飼っている人は無い。現金収入の道として養蜂の普及が期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
養蜂経験 1年以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61年 4月 7日

調査者氏名 伊藤 知文

八林 明子

03/86013

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア	(現地公用語) Bee Culture	新規 交替	(男) 1人	61年 月	
	(日本語) 養蜂 144		(女) 人		
			(男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): Federal Land Consolidation & Rehabilitation Authority
(日本語): 連邦土地統合再生公団 (Federa)

② 隊員勤務先名称: Federa Sungai Ara 日本語名称 (Federa スンガイアラ)
所在地: Sungai Ara Kata Tempoi, Johor 主要都市 (Kota Tinggi) から 60 キロ

③ 事業規模及び内容: 10ヘクタールの農園を中心として 200世帯が入植している。養蜂
センターの入植が実施されている。

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 養蜂箱は 4箱

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 養蜂指導員

② 技術の範囲: 一般的に養蜂群の管理 箱の設置と採蜜の方法であるが 質
量管理も含む。

③ 業務の形態: 12月 1日 Sungai Ara を基点に 合同指導員としての業務であるが
実質的には 養蜂指導員としての業務である。現在 農科大学で 研究の管理の業務を担っており
始めは 養蜂指導員としての業務を担う。一般的に 養蜂指導員としての業務である。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 入植者及び Federa スタッフ。スタッフ
は 担当の業務をこなす。直接の相手は 入植者の対象。

⑤ 現地で利用できる機材: 巣箱 巣箱 巣箱 一般の必要機材はあり。

⑥ 第3国人等の配置状況: 1人。

⑦ 使用する言語: マレー語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: マレーシアは 養蜂は かなり規模があり 年々 国内産を
輸入して 飼料の代替としての生産量の増と品質を高めたいとしている。今のところ
マレーシアは 養蜂の主要産品として利用しているが これらの技術と生産効果と共に
他国に利用するのを期待されている。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):
○ 大学農学部卒業程度で 養蜂の経験あり者

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

86-014

記入 昭和 61年 8月 9日

調査者氏名

小堀泰之

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
パナマ	(現地公用語) Apicultura (日本語) 養蜂	新規 <input checked="" type="radio"/> 替	(男) 1人 (女) 1人 (男女不問) 1人	62年9月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministerio de Agricultura y Ganaderia (日本語): 農牧省					
② 隊員勤務先名称: Servicio de Extensión Agrícola y Ganadera de Caacupé 所在地: Caacupé カアクベ市 日本語名称(カアクベ農牧普及事業所) 主要都市(アシエン)から 54 キロ					
③ 事業規模及び内容: 獣医師2名 農業技師4名 生活改善2名 秘書等の職員で、カアクベ市内、Cordillera 界内の農民に対し、技術普及、常駐指導、生活改善の活動を行っている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 独立家屋1棟。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 農業技師					
② 技術の範囲: 養蜂技術全般					
③ 業務の形態: <ul style="list-style-type: none"> ○ 農家への定期的巡回指導 ○ 政府モデル蜂場の管理 ○ 良系女王蜂の育成及び配布 					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象農民は初心者から20年以上の経験者まで カウンターパートは大卒者(農学士)であるが高年齢で経験不足					
⑤ 現地で利用できる機材: 蒸気分離器、くも煙器等、養蜂機材一般。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: ス페인語及び 行ニ一語。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在、パナマでは、副業としての養蜂ブームがあり、多くの農家が養蜂に興味を持っており、また、政府の輸出の重要産物として育成拡大を強く望んでおり、現在、2名の隊員が当国で活動中である。当事業所が現在3代目の隊員の活動中で、長く継続派遣を要望している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">養蜂経験者</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">女王人工養成技術</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">単車免許</div>					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 8 月 7 日

86-016

調査者氏名

小堀泰之

144

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ホンジュラス	(現地公用語) Apicultura (日本語) 養蜂	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 1 人	62年9月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministerio de Agricultura y Ganaderia/ Servicio de Extensión Agrícola Ganadera (日本語): 農牧省一農牧普及局					
② 隊員勤務先名称: SEAG de Caazapá 日本語名称(カナハ・SEAG事業所) 所在地: Caazapá 県 Caazapá 市内 主要都市(ビジャリカ)から 60 キロ					
③ 事業規模及び内容: 同事業所同県の中央事業所で県下に5ヶ所の同事業所を統轄。職員8名(所長、農業技師4名、事務管理2名、生活改善1名)で構成。農業普及・指導、生活改善を中心とした地域の生活向上を目的して活動している。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 事務棟(2部屋) 現在新事務所建築中 61年度末に完成予定					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 農業技師					
② 技術の範囲: 養蜂技術全般					
③ 業務の形態: ○ 周辺農家の定期巡回指導 ○ 農業所長に於て実習指導 ○ 良系女王蜂の育成及び配布					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象農民は初心者から経験者までマニマニ。					
⑤ 現地で利用できる機材: 現地に専門指導員がいないので何も無いが、隊員が着任後、現地調達が可能 事務所					
⑥ 第3国人等の配置状況: 地内に5~6ヶ所にはアメリカンピースコーがいる(殆ど女性)					
⑦ 使用する言語:					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在、ホンジュラスは副業としての養蜂ブームがあり、多くの農家が養蜂に興味を持っている。又、政府も輸出の重要産物としての育成拡大を強く望んでおり、現在の養蜂隊員が活動中である。養蜂の普及指導の拠点、を確立することがかつ目の課題であるが、当地域にも、隊員を中心とした一つの生産物づくりには大きな期待がかけられている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 養蜂経験者(女)人工養蜂技術(単車免許)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

86-017

記入 昭和 60年 2月 1日

調査者氏名 小 塚 泰 之



144 養 蜂

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
パラグアイ	(現地公用語) Apicultura (日本語) 養蜂	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	61年1月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Universidad Catolica (日本語): カトリック大学					
② 隊員勤務先名称: Facultad de Ciencia y Letras, Carrera de 日本語名称(文理学部農学科) 所在地: コロネル・オビド市 Ciencia Agrarias 主要都市(アスンシオン)から 132 キロ					
③ 事業規模及び内容: 同大学文理学部がセリヤカ市にあり、2年前に農業科と教育科がコロネル・オビド市に開設された。農学系は作物、畜産、獣医、農牧普及の4つの専門課程の開設を予定しており、現在1年生20名、2年生2名が在学している。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 教会内の仮設校舎で教養課程の授業が実施されているが、専門課程の施設については、附属農場校舎の青写真の段階である。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 教師(大学ではingenieroと呼ばれ教師として扱われる)					
② 技術の範囲: 教室での指導より、実践を通じての生徒指導や地域農民に対する普及サービス活動の場となっているので、養蜂に関する全般的な知識と応用能力が必要					
③ 業務の形態: 本学は研究より実践活動と重視しており、地域農民に対する普及サービスの充実と学生の育成を目指している。従って生徒指導のみならず、生徒と共に地域農民に対する普及、啓発活動を展開することを主要な業務の一つとする。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 生徒は高卒者、カウンターパートは決っていない。					
⑤ 現地で利用できる機材: 現在本学には養蜂に関する機材は何もないが、農牧者普及局では養蜂の普及に力を入れおり、各種小道具の回転業務も実施している。必要な資機材は当地で調達可能である。					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 本学は国立アスンシオン大学と共に、当国の最高学府を形成しているが、理科系学部が少く、就中、農学系はこれからという段階である。国立大学には、日本の援助で養蜂研究室が開設され、協力隊員も活躍していることから、これが刺激となり、今次の要請となった。現金収入の道として、養蜂を始めたいと希望する農民が増えているから、普及局もこれの要望に応えなければならない実情にある。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○大学農学部農学科専 単車運転免許 ○語学力 ○(保務経験2年以上); 修工の場合は、修工在学期間中に実務経験とみなす。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受人希望調査表

変更なし 62年 9月 7日
 記入 昭和 62年 3月 3日

調査者氏名 上野利男

協力者 斎藤 聡

146-86102

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
Syria A.R. (現地公用語) シリアアラブ共和	Veterinarian (日本語) 獣医師 (145)	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 奨	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	63年 4月	
(1) 配属先 Ministry of Agriculture and Agrarian Reform					
① 配属先名称(現地公用語): General Organization of Cattle					
(日本語): 酪農農地改革畜酪農公団					
② 隊員勤務先名称: Animal Health Section of Station 日本語名称(国営牧場動物衛生課)					
所在地: Deraa ダラ 主要都市(ダマスカス)から 100 キロ					
③ 事業規模及び内容: 酪農公団傘下の牧場で、1960年設立。現存 乳用及び肉用牛約 1500頭(フリジヤン種 乳用約600頭)を飼育。成乳牛はフリズル形式でミルクパーラ-2基で搾乳。専地面積 430 ha。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 獣医部門に肉用及び乳用 必要最低限の設備 器具を 有して居る。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 牧場勤務の獣医師					
② 技術の範囲: 乳牛・肉牛の一般診療、人工授精、早期妊娠診断、各種ワクチネーション、予防判定 剖検					
③ 業務の形態: 牧場に常駐し、シリア人スタッフと共に各種疫病の診断、治療及び 予防を行なう。また一般飼養管理 搾乳業務及び「フーディス」牛に肉用(獣医部門との連携から 肉用部門へ)には 場長(シリア人)肉用点と示唆するに 必要に応じて行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 獣医師は 2名(5年)、獣医助手は 2名(3年)、獣医師は 1-3名の経験で、肉用知識は 多く 診断技術(シリア)は 低い。牛から					
⑤ 現地で利用できる機材: 獣医部門の中心は 15年の臨床経験と JOCV 研修による知識・技能。診断 治療に用いる器具は 最低限のものを利用可能。医薬品は 常に不足がち。外科 内科 分娩及び Labo. に関する器具は 過去の隊員により輸入(シリア)後利用可能。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し					
⑦ 使用する言語: 牧場では アラビア語、酪農公団会議等は 英語も使われる。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
当地の慣習に従い、シリア人スタッフと共に働き、生産性の向上に貢献することが 望まれる。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○(獣医師免許取得済) ○(乳牛の臨床経験3年以上)					
○(直腸膨脹法による人工授精) ○(妊娠鑑定)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

変更なし 62年 9月 7日
記入 昭和 62年 3月 13日

調査者氏名 上野利男
協力者 嵩秀彦

146 - 86104

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名
シリアアラブ共和国	(現地公用語) Veterinarian (日本語) 獣医師 (145)	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	63年 4月	
(1) 配属先 Ministry of Agriculture and Agration Reform					
① 配属先名称(現地公用語): General Organization of Cattle (日本語): 農業農地改革省 酪農公団					
② 隊員勤務先名称: Animal Health Section of State 日本語名称(国営牧場家畜衛生課) 所在地: Jurine Station for Cows 主要都市(アレッポ)から130キロ					
③ 事業規模及び内容: 1976年に設立。総頭数800頭(うち搾乳牛350頭)のホルスタイン・フリージアン種乳牛を飼養。従業員数80人前後。牛乳の生産を目的とする。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 必需最少限の設備は有17113のもの、老朽化17113。新牛舎(肥育牛用)を建設中。(写真別添)					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 牧場勤務の獣医師					
② 技術の範囲: 人工授精, 繁殖障害治療, 妊娠鑑定, 一般診療等, 牛の臨床全般に及ぶ。					
③ 業務の形態: 牧場に常駐し, シリア人スタッフと共に牧場運営に協力。獣医セクション(シリア人獣医師, 獣医助手, ワーカー等)において仔牛の育成管理, 繁殖障害治療, 搾乳衛生の改善, 伝染病予防等の家畜衛生管理のため勤務する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 獣医師(大卒, 臨床経験4年)と獣医助手(短大卒, 臨床経験10年)。両者とも30才前後。					
⑤ 現地で利用できる機材: 治療, 診断に関する器具は, 最低限のものが利用可能。医薬品は常に不足がち。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し					
⑦ 使用する言語: アラビア語 (年2回の酪農公団会議は英語)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当地の慣習に従い, シリア人スタッフと共に働き, 生産性の向上に貢献することか望まれる。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): (獣医師免許) (通腸療法による人工授精が確実に行えること) (妊娠鑑定 2ヶ月令以内か 確実に行える) (牛の臨床経験 3年以上)					
※ 事務局記入					

変更なし 62年 9月 15日

記入 昭和 61年 9月 11日

調査者氏名 上野利男
 協力 佐藤一義 (59/3)

146-87012

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名
シリアアラブ共和国	(現地公用語) Veterinarian (日本語) 獣医師 (145)	新規 変更	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	62年 8月	
(1) 配属先 Ministry of Agriculture and Agrarian Reform.					
(1) 配属先名称(現地公用語): General Organization of Cattle (日本語): 農業農地改革省 酪農公団					
(2) 隊員勤務先名称: Animal Health Section of State 所在地: Fidio Station for Cattle 日本語名称(国営牧場動物衛生課) 主要都市(ラタキア)から 15 キロ					
(3) 事業規模及び内容: 7行才牧場は総頭数 450頭(経産牛 200頭)のホルスタイン、フリースタン種等乳牛を飼育し、全従業員数は約70名で酪農公団の指導のもとに一応独立採算制として牛乳及び食肉の生産を行っている。					
(4) 設備概要(写真添付が望ましい): 必要最少限の設備は有しているものの老朽化している物もあり 徐々に更新しつつある。					
(2) 隊員の業務内容 就業時間は原則として 8:00~16:00 緊急時には夜間作りの就業もある。					
(1) 隊員の業務上の地位: 7行才牧場 衛生課 専任獣医師					
(2) 技術の範囲: 乳牛の一般臨床診療、人工授精、妊娠鑑定、ワクチネーション、現地人職員 獣医師 7名に対する技術の啓発指導。					
(3) 業務の形態: 牧場に常駐しシリア人スタッフと共に牧場運営に協力する。仔牛の死亡率の減少、繁殖障害の治療、受胎率の向上、家畜衛生の改善と提言等が期待される。現地人の仕事に対する情熱や向上心が種々の要因によって失われつつある傾向にあるので技術の移転を常に考慮しながら実際に自らの実践しつつその熱意が成果で可能性をアピールしながら相手の向上心を引き出すことが業務の主体となる。また、他に要請されている畜産隊員と協力して活動する可能性もある。					
(4) 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 大卒の獣医師 1名 当牧場で1年半の臨床経験も有する 年齢は 30歳前後					
(5) 現地で利用できる機材: 薬品注射器等の必要最少限の機材に事欠くことはいはしめて計画的に入手することは全く不可能である。					
(6) 第3国人等の配置状況: なし					
(7) 使用する言語: アラビア語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: シリア人獣医師の中には給与が低いことや日常業務が厳しい等の理由により仲々牧場に定着して働くこととするものがないので、毎年大卒を卒業する獣医師数は増加しているものの酪農公団は獣医師不足に悩んでいる。従って日常業務の実践を通じてシリア人獣医師はじめ現地人スタッフを啓発する意味で隊員の派遣を望んでいる。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 獣医師免許 人工授精 妊娠鑑定 実務3年					
* 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

09

記入 昭和 61 年 9 月 13 日

調査者氏名

朱峰 潤三 吉野村

86004 145

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
シリア	(現地公用語) Veterinarian 獣医師 (日本語) 145 獣医師	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	62年8月	
(1) 配属先 Ministry of Agriculture and Agrarian Reform					
① 配属先名称(現地公用語): Animal Resources Directorate (日本語): 農業農地改革省 家畜(動物)資源局					
② 隊員勤務先名称: Veterinary Laboratory in Hama 日本語名称(ハマ獣医師研究所) 所在地: Hama 主要都市(ダマスカス)から約50キロ					
③ 事業規模及び内容: シリア政府負担の同センターに日本政府から約1億円相当の単独供与機材を授け、1981年11月に開所。1982年2月ハマ内乱にて、機材の破損損失があったが大部分のものは使用可能。現在新しい機材も日本からは細菌、寄生虫、病理3部門はなかなか手配が					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 研究所としての機能的設計はなされておらず、また部屋数が多い。流しや作り方は大いに問題有り。普通の流水洗いや用流しはあり、外観は汚い。					
(2) 隊員の業務内容 (業務時間 8:00 ~ 19:00)					
① 隊員の業務上の地位: 獣医師(研究職、病理部門担当)					
② 技術の範囲: 牛、羊、ウツタ、馬、犬、鶏、豚、魚、羊の病理組織学的検査。材料採取から鏡検、診断までの基本的なルーティンワーク。染色法はH.E., Ziehl-Neelsen 染色					
③ 業務の形態: 検体はほとんどが解剖済臓器のみの搬入。検体数は月に約20検体。検体数そのものがラボの成産に際するため、搬入数が多い場合、屠殺場まで出かけて数を増やす。死因、病因等の確定的診断を要求される。病理組織所見のみレポートはいやがるが、それは信念として押し通すしかない。最近、若干理解を促すことが出来るように思う。レポートは毎月、ハマから中央ラボ(ダマスカス)へ送る。英語で書かれた所見とカラーレポートがアシスタントに					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 年齢30、バース大学獣医学部卒(5年)。ルーティンワークは出来るようになった。鏡検力はついてきたが、基礎知識不足					
⑤ 現地で利用できる機材: バキューム付ロータリー、パラフィン埋没器、恒温器(高温、低温の2つ)、滑走式及び回転式のマイクローム、 ^(3つ) 分研磨器、写真撮影装置付デイスカッション顕微鏡					
⑥ 第3国人等の配置状況: ナシ					
⑦ 使用する言語: アラビア語 + 英語 (専門用語は英語が主)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 赴任直前のラボ等があったため、いい機構改革により突然、隊員不要とのシリア側の御意向があるため、我々は機材のおまけとしてラボに押し込まれた形だ。従って、当初歓迎されたとは思えない。しかし、現在ラボ側の評価はよくなりつつあり、シリア側の期待度も大きい。我々が来たる事によりラボは明るみに活動が活発になり、シリア側も隊員生活のメリットを十分認識している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 獣医師免許 病理研究室に2年以上籍を置いた者 病理組織学における幅広い知識が必要。気分転換が出来る人					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受人希望調査表

変更日 62年 9 月 7 日
 記入 昭和 62 年 2 月 11 日

146-86103

調査者氏名 上野利男
 協力者 大音光音

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
シリア	(現地公用語) Veterinarian (日本語) 獣医師 (145)	新規 <u>交替</u>	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	63年4月 (62/年度次隊)	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Agriculture and Agrarian Reform General Organization of Cattle (日本語): 農業農地改革省 酪農公団					
② 隊員勤務先名称: Deir Ez-Zor Cattle Station 日本語名称(テリゾール牧場) 所在地: Deir Ez-Zor (テリゾール) 主要都市(ダマスカス)から 450 キロ					
③ 事業規模及び内容: 約1000頭のホルスタインフリージアン(成乳牛約450頭、哺乳子牛約100頭、種牡牛5頭、その他育成牛、肉用雄牛等)を飼養している国営牧場。牧場職員は約70名、牛乳の生産を第一の目的とした牧場である。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 獣医師関係; 獣医事務所、検査室、薬品庫、冷蔵庫等。[写真別添] 牛舎関係; 搾乳牛舎4棟(400頭搾乳可)、分娩牛舎(分娩房28)、乾乳牛舎、哺乳牛舎(120頭収容可)、種牡牛舎等					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: シリア人獣医師と同格。牧場内では場長に次ぐ地位である。					
② 技術の範囲: 人工授精、繁殖障害治療、妊娠鑑定、一般疾病治療など、牛の臨床全般に及ぶ。					
③ 業務の形態: シリア人獣医師2名と共に牧場で飼養している牛の診療業務にあたる。通常の勤務時間は午前8時から午後2時まで。人工授精、繁殖障害治療、妊娠鑑定等、繁殖関係の診療が中心になる。但し、急性疾患の治療や難産介助などは勤務時間に関係なく行なう。また午後6時から8時まで人工授精業務のみ行なっているが、これは3名の獣医師(シリア人2名、JOCT隊員1名)が毎日交代で行なっている。アシスタント獣医(1名)、アシスタント農業技師(1名)、Worker(3名)が獣医師の仕事を補佐してくれるので、かなり能率よく仕事ができる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: シリア人獣医師2名はシリアの獣医科大学(5年制)を卒業し、当牧場に7~9年勤務している。牛の診療に関する知識、技術レベルはかなり高い。年齢、30代後半。					
⑤ 現地で利用できる機材: 牧場所有機材; 精液スロー保管タンク、人工授精器、注射器、JOCT所有機材; 顕微鏡、ハマトリット遠心機、赤(白)血球計算用ピペット、血球計算板、カウンター、ヘモグラムカウンター、切胎器、子宮洗浄器、外科手術器具。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし。JOCT隊員以外の外国人スタッフがはいり可能性はない。					
⑦ 使用する言語: 日常生活、業務上はアラビア語。年2回の酪農公団会議は英語(英文レポート提出)。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当地の慣習に従い、シリア人スタッフと共に働き、生産性の向上に貢献することが望まれる。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): (獣医師免許)、(直腸膣法による人工授精が確実にできる)、(業務経験(牛の臨床経験)3年以上)、協調性のある人、自動二輪免許、(妊娠介助)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62年 9月 14日

調査者氏名 和泉 守

221-87-015

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
エチオピア	(現地公用語) Veterinary	新規	(男) 1人	63年 7月	
	(日本語) 145 獣医師	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture					
(日本語): 農 業 省					
② 隊員勤務先名称: Department of Veterinary Services 日本語名称 ()					
所在地: アディスアベバ 主要都市 () から キロ					
③ 事業規模及び内容: 各地の出張所により3〜5名の獣医師及びアシスタントの常駐しており、農業省管轄の牧場、飼育場の家畜管理を行っている。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 各地の出張所により異なり					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: アドバイザー					
② 技術の範囲: 家畜 (牛、羊、山羊) に対する中程度の知識と経験及び流行病、一般病の知識、経験、家畜経営学の知識					
③ 業務の形態: 隊員は Head office に常駐し、各地の5つのリクエストにより出張し、各地にある農業省の牧場、飼育場にて、獣医技術を指導するとともに、各地の家畜の流行病、一般病に対する調査及び防疫方法の指導が、重要な業務となる。また家畜経営に関する指導も行う事となる					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 各地のアシスタント 技術力は低い 30才代					
⑤ 現地で利用できる機材: Head office にパソコン3台					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当地の獣医師の数が絶対的に不足しているのが現状であるが、獣医師の育成までとはいえない。それをアシスタントの自らの養成は急務である。日本人の優れた技術力を導入することにより、アシスタントの技術力向上を大きく期待している					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): <u>実務経験3年以上</u> 家畜経営の知識、コンピューター知識の有無が尚可、 大卒以上					
※ 事務局記入			145		

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62年 8月 25日

調査者氏名

斎藤 薫 芝 博 明

87008

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ザンビア 1A5	(現地公用語) Veterinarian	新規	(男) 人	63年7月	
	(日本語) 獣医師	(交替)	(女) 人 (男女不問) 1人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Department of Veterinary and Tsetse Control Service (日本語): 獣医サービス防役局(農業水資源南カ省)					
② 隊員勤務先名称: Zambia Institute of Animal Health 日本語名称(ザンビア)家畜衛生短大 所在地: P.O. Box 237, Mazabuka 主要都市(Lusaka)から130キロ					
③ 事業規模及び内容: 学生数 27名. スタッフ7~8名. 敷地約 60x72メートル Vet assistant, laboratory assistant, Tsetse Control Assistant 3人 今年度は Vet assistant course のみ.					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 教室. 実験室. 動物入院病棟. 解剖室. 実習農場 学生用宿舎. 食堂. 各スタッフ用オフィス. ミーティングルーム等					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Veterinary Officer					
② 技術の範囲: 獣医学全般における幅広い知識(特に大動物) fieldで実際に活用できる基本的技術.					
③ 業務の形態: AM 8:00~PM 12:30 講義. PM 2:00~4:00 実習(月.火.木.金) AM 8:00~PM 12:30 野外実習. PM 2:00~4:00 スポーツ(水) その他実習農場の家畜の治療. 病理解剖.					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: Sec School 卒業者 (Form 5 取得者) 20~25才					
⑤ 現地で利用できる機材: 顕微鏡. 病理切片標本作成用機材一式. X-ray装置 一般検査用機器. 冷凍庫. 冷蔵庫. 蒸留装置. PHメーター. 高圧滅菌機. 高圧滅菌器. 孵卵器等.					
⑥ 第3国人等の配置状況: ウガンダ人校長.					
⑦ 使用する言語: 英語.					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 獣医師の不足, (国内) 現在, 獣医師はウガンダ人校長しかおらず, 授業, 実習内容が充実していない. ZIAHでは					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○獣医師免許取得者, ○大動物臨床経験 2~3年以上. 英会話は上手な方がよい.					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表



記入 昭和 62 年 8 月 18 日

調査者氏名 ザンビア大学獣医学部技術協力企画
大芝博明 橋本 栄治

87009

145 獣医師

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ザンビア	(現地公用語) TEACHING ASSISTANT (MICROBIOLOGY - BACTERIOLOGY) (日本語) 145 家畜微生物学(細菌学)教官助手	新規 交替(新野)	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1 人	63年7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): University of Zambia (UNZA) (日本語): ザンビア大学					
② 隊員勤務先名称: School of Veterinary Medicine 日本語名称(ザンビア大学獣医学部) 所在地: P.O. Box 32379, Lusaka 主要都市(ルサカ都市)から 7 キロ					
③ 事業規模及び内容: ザンビア大学は、ザンビア唯一の大学であり現在11学部約4,700人の学生が居る。この11番目の学部として獣医学部が設立され(1983年)わが国無償資金協力が主たる校舎の建設(86年2月完成)及びワロシエ外様技術協力(85年1月P.O.署名、協力期間5年間)が実施されている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 建物は学部本館、図書館、実験研究棟、家畜病院等12,836m ² の床面積で付属牧場(約8ha)が併設されている。機器類は無償資金協力及び技術協力により整備					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 獣医学部における家畜微生物学(細菌学)の教官助手 (Teaching Assistant)					
② 技術の範囲: 獣医教育時=家畜微生物学(細菌学)に関する基礎及び応用の知識					
③ 業務の形態: 家畜微生物学(細菌学)教官(日本人専門家)の指導の下に a. 講義の準備、補助 b. 実習、実験の指導 c. 野外実習の指導 d. 研究補助 e. 機材の保守 等を行う					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 獣医教育は6年制で、うち学部教育は5年制である。これら2-6年生の学生及び獣医助手的な技官がカウンターパートとなる。					
⑤ 現地で利用できる機材: 日本獣医学部と同程度の実験、研究資機材が整備されている。(具体的な専門分野に関する機材については JICA 農業開発協力部畜産開発課に照会の二ヒ) (日本人、英国人、スウェーデン人、ザンビア人、ウガンダ人)					
⑥ 第3国人等の配置状況: 獣医学部教官22名の内訳(2名がアメリカ人、2名がスウェーデン人、2名がザンビア人、16名がインド人)					
⑦ 使用する言語: 英語(特に会話の堪能な二ヒ)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 本獣医学部は国際的水準に達した獣医師の養成を目的としており、協力隊員には教官助手として日本人専門家及び他の獣医学部教官としての活躍が期待されている。獣医教育の確立維持、研究室の整備及び研究体制の確立等、草創期の学部であるので、情熱と努力、創意と工夫を求められている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
① 獣医関係の大学を卒業し、獣医師の資格を有していること。 2. 1年以上の実務経験が望ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表



記入 昭和 62 年 8 月 18 日

調査者氏名 ザンビア大学獣医学部技術協力計画
大芝博 晴本栄治

87010 145 獣医師

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ザンビア	(現地公用語) TEACHING ASSISTANT (PATHOLOGY) (日本語) 家畜病理学教官助手	新規 交替 (印)	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1 人	63 年 7 月	

(1) 配属先

- ① 配属先名称 (現地公用語): University of Zambia (UNZA)
(日本語): ザンビア大学
- ② 隊員勤務先名称: School of Veterinary Medicine 日本語名称 (ザンビア大学獣医学部)
所在地: P.O. Box 32379, Lusaka 主要都市 (ルカ首都) から 7 キロ
- ③ 事業規模及び内容: ザンビア大学は、ザンビア唯一の大学であり、現在 11 学部 約 4,700 人の学生が居る。このうちの学部として獣医学部が設立され (1983 年)、この国の無償資金協力による校舎の建設 (86 年 2 月完成) 及びプロジェクト方式技術協力 (85 年 1 月 R/D 署名、協力期間 5 年) が実施されている。
- ④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 建物は、学部本館、図書館、実験研究棟、家畜病院 等々 12830 m² の広積で、付属牧場 (約 8ha) が併設されている。機器類は無償資金協力及び技術協力により整備。

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 獣医学部に於ける家畜病理学の教官助手 (Teaching Assistant)
- ② 技術の範囲: 獣医教育時に家畜病理学に関する基礎及び応用の知識。
- ③ 業務の形態: 家畜病理学教官 (日本人専門家) の指導の下に。
a. 講義の準備、補助
b. 実習、実験の指導 (対教官、对学生)
c. 野外実習の指導。
d. 研究補助。
e. 機材の採買 等を行う。
- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 獣医教育は、6 年制で、うち学部教育は、5 年制である。このうち 2-6 年生の学生及び獣医助手的な技官がカウンターパートとなる。
- ⑤ 現地で利用できる機材: 日本の獣医学部と同程度の実験、研究用機材が整備されている。
(具体的な専門分野に関する機材については、JICA 農業開発協力部畜産開発課に照会すること) (日本 6 人、英国 3 人、スウェーデン 1 人、ザンビア 3 人、ケニア 1 人)
- ⑥ 第 3 国人等の配置状況: 獣医学部教官 22 名の内訳 {9=ザンビア 2 人、2=ケニア 1 人、ガナ 2 人、ナイジェリア 1 人、インド 2 人}
- ⑦ 使用する言語: 英語 (特に会話が堪能であること)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 本獣医学部は、国際的水準に達した獣医師の養成を目的としており、協力隊員には教官助手として、日本人専門家及び他の獣医学部教官としての活躍が期待されている。獣医教育の確立維持、研究室の整備及び研究体制の確立等、草創期の学部であるので、情熱と努力、創意と工夫が求められている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 獣医関係の大学を卒業し、獣医師の資格を有していること。
② 1 年以上の実務経験が望ましい。

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表



記入 昭和 62 年 8 月 18 日

調査者氏名 ザンビア大学獣医学部技術協力計画

大芝博 明橋本 栄治

87011 145 獣医師

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ザンビア	TEACHING ASSISTANT (PARASITOLOGY) (現地公用語) 家畜寄生虫学教官助手 (日本語)	新規 交替 (甲派)	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	63年10月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): University of Zambia (UNZA) (日本語): ザンビア大学					
② 隊員勤務先名称: School of Veterinary Medicine 日本語名称(ザンビア大学獣医学部) 所在地: P.O. Box 32379 Lusaka 主要都市(リサカ都市)から 7 キロ					
③ 事業規模及び内容: ザンビア大学はザンビア唯一の大学であり現在11学部約4700人の学生が居る この11番目の学部として獣医学部が設立され(1983年)わが国の無償資金協力による校舎建設 (8年2月完成)及び700ロビエ外視技術協力(85年1月)の第1期協力期間5年間に実施されている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい) 建物の学部本館 図書館 実験研究棟 家畜病院等々 12830m ² の床面積に付属牧場(約8ha)が併設されている。機材類は無償資金協力及び技術協力により整備					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 獣医学部における家畜寄生虫学の教官助手 (Teaching Assistant)					
② 技術の範囲: 獣医教育特に家畜寄生虫学に関する基礎及び応用の知識。					
③ 業務の形態: 家畜寄生虫学教官(日本人専門家)の指導の下に a. 講義の準備 補助 b. 実習、実験の指導(対技官、对学生) c. 野外実習の指導 d. 研究補助 e. 機材の保守 等を行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 獣医教育は6年制で、うち学部教育は5年 間である。これら2-6年生の学生及び獣医助手的技官がカウンターパートとなる。					
⑤ 現地で利用できる機材: 日本の獣医学部と同程度の実験、研究用機材が整備されて いる。(具体的な専門分野に関する機材については、JICA農業開発協力部畜産開発 課に照会のこと) [日本6人、英国3人、スウェーデン1人、ザンビア3人、フランス1人、その他]					
⑥ 第3国人等の配置状況: 獣医学部教官22名の内訳					
⑦ 使用する言語: 英語 (特に会話が堪能なこと)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 本獣医学部は国際的水準に達した獣医師の養成を目的 としており、協力隊員には教官助手として日本人専門家及び他の獣医学部教官 としての活躍が期待されている。獣医教育の確立維持、研究室の整備及び 研究体制の確立等 草創期の学部であるので情熱と努力、創意と工夫 とが求められている。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):					
① 獣医関係の大学を卒業し、獣医師の資格を有していること。					
② 一年以上の実務経験が望ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表



記入 昭和 62 年 8 月 18 日

調査者氏名 ザンビヤ大学獣医学部技術協力計画

大芝博 明橋 本 栄治

07012

145 獣医師

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ザンビヤ	(現地公用語) TEACHING ASSISTANT (MICROBIOLOGY, VIROLOGY)	新規	(男) 人	63年12月	
	(日本語)		(女) 人		
145 家畜微生物学(ウイルス学)教官助手		交替 (南野)	(男女不問) 1 人		

(1) 配属先

① 配属先名称 (現地公用語): University of Zambia (UNZA)
(日本語): ザンビヤ大学

② 隊員勤務先名称: School of Veterinary Medicine 日本語名称 (ザンビヤ大学獣医学部)
所在地: P.O. Box 32379, Lusaka 主要都市 (レオカ都市) から 7 キロ

③ 事業規模及び内容: ザンビヤ大学は、ザンビヤ唯一の大学であり、現在11学部約4700人の学生がいる。この11番目の学部として獣医学部が設立され(1983年)、わが国の無償資金協力による校舎の建設(86年2月完成)及びプロジェクト方式技術協力(85年1月1日署名、協力期間5年間)が実施されている。

④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 建物は学部本館、図書館、実験研究棟、家畜病院等々128,800㎡の広面積で、付属牧場(約8ha)が併設されている。機器類は無償資金協力及び技術協力により整備。

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 獣医学部における家畜微生物学(ウイルス学)教官助手 (Teaching Assistant)

② 技術の範囲: 獣医教育 併に家畜微生物学(ウイルス学)に関する基礎及び応用の知識。

③ 業務の形態: 家畜微生物学教官(日本人専門家)の指導の下に

- a. 講義の準備, 補助
- b. 実習, 実験の指導 (対教官, 対学生)
- c. 野外実習の指導
- d. 研究補助
- e. 機材の保守 等を行う。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 獣医教育は6年生で、うち学部教育は5年間である。これら2-6年生の学生及び獣医助手的な技官がカウンターパートとなる。

⑤ 現地で利用できる機材: 日本獣医学部と同程度の実験, 研究資機材が整備されている。(具体的には専門分野に関する機材については、JICA農業開発部畜産開発課に照会のこと) 日本人, 英国人, スウェーデン人, ザンビア人, ウガンダ人

⑥ 第3国人等の配置状況: 獣医学部教官22名の内訳 (カンボジア人, スーダン人, ガーナ人, ナイジェリア人, インド人)

⑦ 使用する言語: 英語 (特に会話が堪能であること)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 本獣医学部は国際的水準に達して獣医師の養成を目的としており、協力隊員には教官助手として日本人専門家及び他獣医学部教官としての活躍が期待されている。獣医教育の確立維持, 研究室の整備及び研究体制の確立等草創期の学部であるので情熱と努力, 創意と工夫を求められている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 獣医関係の大学を卒業し、獣医師の資格を有していること。
- ② 1年以上の実務経験が望ましい。

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 9 月 2 日

調査者氏名 飯野

86010

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
タイ国	(現地公用語) FARMERS' COOPERATIVE (日本語) 151 農業協同組合	新(規) 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	62年 月 早い時期	

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): Ministry of university affairs
(日本語): 大学
- ② 隊員勤務先名称: mae ja institute of agricultural technology (日本語名称: Xジョ-農科大学)
所在地: チェンマイ県チェンマイ市 主要都市(バンコク)から750キロ
- ③ 事業規模及び内容: タイ北部の中心であるチェンマイにある。1970年に正式に大学として
成立した。生徒数は約1200名である。
- ④ 設備概要(写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 一般の教師と同じ位置
- ② 技術の範囲: 農業普及や農業促進事業に経験を持っていること。
- ③ 業務の形態: 農業普及、方法、協同組合組織の作り方、農業促進技術の方法
などに関して生徒に授業をする。又、貸金する為のプロジェクトも行う。それ故
日常の業務は、学校の枠での授業やプロジェクトが主体である。定習として外出
することは少ない。学校中心型である。貸金中心の農村型ではない。
- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 大学

⑤ 現地で利用できる機材:

⑥ 第3国人等の配置状況: なし

⑦ 使用する言語: タイ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 農業の促進が円滑化とかに代りて何か新しい方法
があるか指導してもらいたいという希望である。特に生産性を上げる為には、
有効な組織づくりなどに就いて指導をもらいたいと考えている。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

大学
経験5~7年
年齢27~35才

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

86002

記入 昭和 61 年 9 月 12 日

調査者氏名

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
COLOMBIA	(現地公用語) COOPERATIVA PESQUERAS (日本語) 152. 漁業協同組合	新規 交・替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	87年 9 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): CORPORACION AUTONOMA REGIONAL PARA EL DESARROLLO DE (日本語): ナリニョ 県地域開発公社 NARIÑO.-CORPONARIÑO-					
② 隊員勤務先名称: CORPONRINO TUMACO OFICE 日本語名称() 事業所 所在地: CALLE DEL COMERCIO, EDIFICIO VIVEROS 2o PISO TUMACO 市() から キロ					
③ 事業規模及び内容: CORPONRINOは、3年ほど前に創られた開発公社であり、県全体の地域の経済開発を目的としており、その管轄分野は、農・工・水産・林業等多岐に及んでいる。漁業事業は、このTUMACO事業所が太平洋岸のBOCA DE SANTINGA事業所、CHARCO 事業所の二つを統括し、共に漁業振興に当たっている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): (添付写真参照) 共同組合事務所、製氷設備、冷凍庫(80トンの冷蔵及び、10トンの冷凍設備)、漁船2隻、波止場及び倉庫6棟。他にカヌーがある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 漁業共同組合技術顧問					
② 技術の範囲: 地域1500漁民に漁具漁法技術を指導すると共に、漁業共同組合の管理、運営を担当する。					
③ 業務の形態: 当漁業組合は、昨年、運営技術上の問題で、機能を停止してしまった。当面はその再建と、漁民への技術指導に当る。当漁業組合では、現在の処、90名の漁民が参加している。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 現在調整中					
⑤ 現地で利用できる機材: 共同組合事務所、製氷設備、冷凍庫(80トンの冷蔵及び、10トンの冷凍設備)、漁船2隻、波止場及び倉庫6棟。他にカヌー					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 今回の要請は急拠、他機関からの変更要請となったのであるが、漁業組合の運営上の問題があつて、一年前から、事実上運営が止まっている。設備は再開の為に常に稼動状態であり、早期の隊員の派遣を期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 漁業組合経験者、及び、沿岸漁業技術者					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 9 月 24 日

調査者氏名

村松園光 教員

鮎川 亮

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ネパール	(現地公用語) Project Development and Formulation (日本語) 153 2002年7月 開発, 策定(村落開発普及) 交替	新規	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	68 年 7 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): King Mahendra Trust for Nature Conservation (日本語): 自然保護 キング・マヘンドラ・トラスト					
② 隊員勤務先名称: The Trust Headquarters 日本語名称(トラスト本部) 所在地: カトマンドウ 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: 2つの地域と4つの地域の自然保護を行うため, 森林, 野生動物保護, 自然エネルギー利用, 村落開発, 自然保護教育, 旅行者対策					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 2002年7月 企画者					
② 技術の範囲: 自然保護を踏えた地域開発計画の策定					
③ 業務の形態: 自然保護を考慮した地域開発計画 King Mahendra Japan Trust for Nature Conservation と連絡しながら策定する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 不明					
⑤ 現地で利用できる機材: マイクロコンピュータ 他					
⑥ 第3国人等の配置状況: 不明					
⑦ 使用する言語: ネパール語, 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 日本に設立された, キング・マヘンドラ・トラスト からの協力を期待して いる。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○ 大学卒以上 ○ 自然保護を踏えた地域開発計画を策定できる人					
※ 事務局記入			153		

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62年 9月 3日

調査者氏名

吉村 稔 調査員

23987003

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
1) (現地公用語) Village Extension Worker (日本語) 1) 村務開発普及員		新規	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	63年12月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Rural Development (日本語): 地方開発省					
② 隊員勤務先名称: Self Help Development Project 日本語名称(村務自立プロジェクト) 所在地: Harper 主要都市(モロビア)から キロ					
③ 事業規模及び内容: UNDPの援助の下に、プライマリ・ヘルププロジェクト、水稲作プロジェクトを ご計画されている					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 村務開発普及員					
② 技術の範囲: 農業に関する一般的知識、経験や医療知識を必要とするが、 調整的指導やあるいは農業経営のコンサルティングも必要。					
③ 業務の形態: 村務の中に住居を設け、村民の一員として地域に根付いて住民に 22回が必要と推測され Projectの立案、予算の交渉、実行を行 なす。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象は入村するところの村民全 体あるいは、村の住民を対象とする。					
⑤ 現地で利用できる機材: 何にもなし					
⑥ 第3国人等の配置状況: UNDP (アフリカ人等)					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 地域開発 Projectは小規模であるので比較的安い予算で行動に移せ るが、それだけに Projectの目的、計画性をしっかりと持たねばな ない。隊員には村人達に融け込み、彼らの側から視点を捉え UN DPや他の援助団体との調整役として期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件についてO印で囲むこと): 農業に関する知識、経験のあること。経営、統計に関する知識がある 人が望ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62年 8月 29日

87-003

調査者氏名

阿久津好男、環(調)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ホンデュラス	(現地公用語) Extensinista de Desarrollo Rural (日本語) 村落開発普及員(153)	新規 (交替)	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	63年9月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Instituto Nacional Agrario (INA) (日本語): 農地改革庁					
② 隊員勤務先名称: Oficina Regional de Zona Sur 日本語名称(南部地方事務所) 所在地: ツオルカ市 主要都市(Tejuicgapa)から140キロ					
③ 事業規模及び内容: 農地改革により入植した農民グループの支援が主な事業。全国を9つの地域に分け、農地有効利用を目的に農地改革、配分、融資、技術指導、人材育成を図り現在5万人の農民が2300の協同組合で構成し、その支援を受けている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 普及員のための車十数台、農業機械 etc. 巡回指導用車輜。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 農業普及員 Bカテゴリー・ワーカー					
② 技術の範囲: 農業改良から生活改良と広範囲で及び、協同組合の管理運営に力を入れ、11ヶ年育成及び農業技術指導。					
③ 業務の形態: ①agronomo ②promotor ③capacitadorの3人が1つのグループをつくり農村の巡回指導にあたる(INA) また、これとは別にモデル計画遂行のための事務所がCONSPLANEによって開設されており管理、運営にあたり、(経済企画省)					
(注) ①、農業技術指導員 ②、郵便代行、組織作り、11ヶ年育成連絡員 ③、組合運営に力を入れ、管理指導員。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: Agronomo は農業学校卒 30歳~40歳					
⑤ 現地で利用できる機材: MODICAへの供与機材(車、トラクター、灌漑設備、公民館、乳製品加工のための機材 etc.) その他 INAの所有する機材。					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: スパイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 日本政府の無償援助によるモデル農村開発計画(MODICA計画)により灌漑設備、公民館、教育機材、医療機材、トラクター、官農普及車などが供与され今後いかにそれらを有効に利用、維持、管理していくかが課題である。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 農業に関する一般知識が必要である 特に組合活動や灌漑農業の経験と知識があることが望ましい 協同組合(農協)運営に慣れている事が条件。(この省は技術研修が必修)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 8 月 26 日

調査者氏名 小松 征司

87014

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
中国	(現地公用語) 果品加工利用	新規	(男) 人	63年7月	
	(日本語) 160 食品加工	交替	(女) 人 (男女不問) 1人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): 内蒙古自治区内蒙古园艺科学研究所
(日本語): 内モンゴル自治区内モンゴル園芸試験場
- ② 隊員勤務先名称: 内蒙古园艺研究所加工利用研究室 日本語名称(園芸研究所加工研究室)
所在地: 内モンゴル呼和浩特市 主要都市(北京)から600キロ
- ③ 事業規模及び内容: 加工研究室及び実験工場には現在6人の技術者がいる。小規模的な果物総合加工(洗ム、缶詰果物、果物の砂糖づけ、さんざしの蜜餞等)と包装の施設がある。
- ④ 設備概要(写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 農業技師
- ② 技術の範囲:
- ③ 業務の形態: ① 研究所の所員と、果物加工生産の技術指導を担当する。
② 果物加工の新品研究
③ 内モンゴル各地にある果物加工工場に対し、調査、指導及び技術訓練を行う。
- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 大学卒業生、27-30才。

⑤ 現地で利用できる機材:

蒸気双重鍋、均質機、ビータ、漆風呂、包装機、滅菌鍋、シーマー等。

⑥ 第3国人等の配置状況:

⑦ 使用する言語: 中国語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 内モンゴル自治区は豊かな果樹資源(例えば、リンゴ、ぶどう、桃、あんず、すもも、いちご等)に恵まれ、野生果樹も豊かに抱えて持っている。果物加工開発はすでに、この区の果樹発展の重点方向となっている。果物加工生産を大いに発展させていくという意向で、自治区の経済発展にはかりでなく、国家のためにも貢献しようとして、特にこの数年のあいだに有名、優秀の特級新品を研究するつもりだ。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

園芸加工専攻の大学卒業生、2-5年間果物加工業種に従事した経験者で、果物加工作業、人員訓練、新品研究、できる者。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61年 8月 15日

調査者氏名

山本 昭夫

86011

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) 食品加工 160	新規	(男) 1人	62年7月	
	(日本語) Food Technology	交替	(女) 1人 (男女不問) 1人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Don Mariano Marcos Memorial State University (日本語): ドンマリヤマルコス記念国立大学					
② 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称(同上)					
所在地: サララン, パワリ-タン, ラ-ラニオン 主要都市(マニラ)から290キロ					
③ 事業規模及び内容: 学生数1万人以上, 教授陣700人 7つの分校をもつ. 大学敷地 800ha以上の規模をもつ総合大学である. 1986年日本の無償協力の農森林研究室建物が寄贈された。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Instructor (教師)					
② 技術の範囲: 食品加工全般に関する知識. 理論・実践共に求められる。					
③ 業務の形態:					
教室で講義をもつとともに, 実習・デモンストレーションを行う。 機材を用いて, カリキュラムの確立, 又, 食品加工における, 地域性(技術調査)を生かした食品加工を調査する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 有. 28歳女性. 大卒教師					
⑤ 現地で利用できる機材: 別添写真参照 日本からの機材一式					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし.					
⑦ 使用する言語: 伊カノ, 英語, フカロク					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
日本から無償供与して一式機材が奉贈され, この機材の有効利用について, 隊員の技術に大きな期待が寄せられている。 学歴は, 大卒, 又, 年齢の範囲は広い。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○食品加工学部卒 経験2年					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 8 月 29 日

調査者氏名 飯野

タイ国

86012

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
タイ国	(現地公用語) FOOD PROCESSING	新規	(男) 1 人	62年 月 早い時期	0.2 1.2
	(日本語) 160 食品加工	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称 (現地公用語): *Ministry of education*
(日本語): 文部省
- ② 隊員勤務先名称: *The institute of technology and vocational education* 日本語名称 (農業技術高等専門学校)
所在地: ランポン県ランパーン市 主要都市 (バンコク) から 600 キロ
- ③ 事業規模及び内容: ランポン農業技術高等専門学校は全国に29校あるうちの1校で、農業総合校に属している。特に、この食品加工科は、質的レベルが高く、生徒のみではなく他校の教師を集めて指導している。
- ④ 設備概要 (写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 食品加工科の教師
- ② 技術の範囲: 果物のかんづめ、ワイン、野菜のかんづめ、肉類のソーセージ、みそしょうゆなどを作っている。これらの作り方のうち、かんづめ、ソーセージの技術をもっている。
- ③ 業務の形態: 日常の仕事は、生徒に対する授業、タイ人教師に対する技術指導、又、実習場加工場の改善などである。品質のよい品物を作り出すには、どの様な技術を用いるか、どの様なところに注意をするか、などについて、実際に行なって見せて理解させる。それ故、技術移転は隊員の履先から当然に行なわれる。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 大卒

⑤ 現地で利用できる機材: かんづめ加工機、ソーセージ加工機など一通りそろっている。

⑥ 第3国人等の配置状況: なし

⑦ 使用する言語: タイ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: かんづめやワイン、みそやソーセージの生産はタイでも盛んなが、品質の点にまだ問題がある。隊員の出来る範囲で、技術移転を行ない、品質向上に努めてほしいという希望である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
大卒以上
経験5年以上
年齢30才位以内

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

小林育夫(調)

記入 昭和 62 年 3 月 15 日

87-024

調査者氏名

沖野 礼司

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ホンデュラス	(現地公用語) Analisisista de Alimentos (日本語) (160) 食品加工(分析)	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	63年9月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Instituto Nacional de Formación Profesional (略 INFOP) (日本語): 国立職業技術庁					
② 隊員勤務先名称: INFOP Sección Agrícola Taller Alimentos 日本語名称(農牧課食品加工部) 所在地: San Pedro Sula (略称 S.P.S.) 主要都市(首都)から 240 キロ					
③ 事業規模及び内容: 国立職業技術庁は国家開発計画に基づき人材養成を目的としており、主要都市に職業訓練校、その他の都市に、教官派遣の為の事務所を持ち、移動講習会を行っている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): S.P.S. INFOP 内に食品加工実習場があり、肉、乳、農水加工及び製菓製パンの為の加工設備及び食品実験検査設備がある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 国立職業技術庁 教官顧問 (Asesor Técnico)					
② 技術の範囲: ホンデュラス国内産食品及び実習場内試作品の分析が主な業務となる為 それに対応できること。					
③ 業務の形態: 食品加工実習場内での食品分析が主な業務となり、各生産部門の要請により研究移動を行う。又民間企業からの要請に基づきその年次について、講習会を行うことも予想される。それらと並行し、INFOP教官に対し、離任後彼らが引き続き運営している様 教育する必要がある。(業務時間は 8:00~16:00 で、週休2日制。)					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 現在食品分析を専門とするカウンターパートはいないが、乳肉加工製菓製パン計3人のカウンターパートは農業学校卒程度(対象者は別途参照)					
⑤ 現地で利用できる機材: 食品加工分析に関する機材は、一応揃っているが、薬品類は、現地購入が難しい。主な機材としては、pHメーター、糖度計、恒温器、無菌箱、ホモジナイザー、上皿、直示天秤、オートクレーブ、顕微鏡など。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 食品加工実習場内には日本人現在7名、その他の実習場にイタリア人他がいる					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: INFOP食品加工実習場 研究室増設に伴い、研究室運営管理者の育成が必要となった。公機関として、食品加工品を分析する機関は程がなく、民間企業の要請により、分析研究できることを目指している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 加工食品全般の分析研究を(大学)において修得した者					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 7 月 日

調査者氏名

下藤 実

87.105
160

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ペルー	(現地公用語) Procesamiento de productos agropecuarios (日本語) 食品加工(乳製品)	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 人	63 年 9 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): INSTITUTO NACIONAL DE DESARROLLO (日本語): 開発庁					
② 隊員勤務先名称: Autoridad Autónoma de MAJES 日本語名称(マヘス自治公団) 所在地: Arequipa 県 MAJES 主要都市(アレキパ)から南/100キロ					
③ 事業規模及び内容: ペルー政府が砂漠かんがい事業の中で一番力を入れている国家的事業。52000 Hs の砂漠をかんがい緑地化を予定。現在約8000 Hs がかんがい済。8000 家族が農牧を中心とする。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 17 入植している。研究所も広大な土地を所有					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 研究員及び普及指導員					
② 技術の範囲: 計画として乳製品加工(チーズ、バター)アスパラガス キャベツ等のかんがい					
③ 業務の形態: を持っているが根本的問題として加工する為の燃料 問題をかかえている。 現在、牛糞発酵も利用したがス利用を考慮中である。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: Ingeniero 4人、(大学卒)専攻不明					
⑤ 現地で利用できる機材:					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 早期入植者達がアルファルファを栽培して牛を中心とする牧畜を営んでいる。現在牛乳しか加工しているものの半分ほどである。その有効利用を計画中である。隊員には品質管理から企業化までやってもらいたい様子。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 経験 4~5年					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62年 9月 4日

調査者氏名 西村喜継

03/87014 161 農産物加工

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア	(現地公用語) Teknologi Makanan (日本語) 760 食品加工	新規 交替	(男) 1人 (女) 1人 (男女不問) 1人	63年7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Federal Land Development Authority (日本語): 連邦土地開発公団					
② 隊員勤務先名称: Rancangan Tenggara Timur 日本語名称(トランガロ・テメル)植地 所在地: 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: Fielda はシングルを切り開いて作った数4ヘクタール規模のゴムや オイルパームの入植地を全国に300ヶ所以上経営しており、貧困層を 対象に1ヶ所 200~500家族の入植者を擁している。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 入植地には、事務所、小中学校、幼稚園、公民館、モスリ 日用品販売所等がある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 婦人を対象とした食品加工に関する講師。					
② 技術の範囲: 入植者婦人を対象に各種の食品加工を教えることができる。 又、技術が向上すれば販売用の加工品の指導も考えられる。					
③ 業務の形態: 当初は、入植者婦人を対象に午後の空時間(午前中は婦人達は仕事がある) を利用して、食品加工の講習会を開催する。婦人の技術が向上すれば 販売用を目的とした加工工場の開設、運営をも行なう。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者は入植者婦人。カウンターパートは農業短大(家政)卒の指導員。					
⑤ 現地で利用できる機材: 特になし。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし。					
⑦ 使用する言語: マレーシア語。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ゴム、オイルパームの国際価格の下落により、入植者の生活は苦しく なっており、支出を減らすため副収入の道を模索しており、その一環 として食品加工を手がける事になった。将来は「スルダ」マークのピクルスや 加工食品を販売したい考えがあり期待は大きい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 食品加工全般に渡る知識があり、実務経験 又は 指導経験(研修 改良普及員等)が3年以上あること。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

86-104

記入 昭和 62 年 8 月 25 日

調査者氏名 奥 村 浩 一

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
COLOMBIA	(現地公用語) PROCESAMIENTO AGRICORA	新規	(男) 1 人	1988年 3月	
	(日本語) 161.農産物加工	交替	(女) 1 人 (男女不問) 1 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): FUNDAEC					
(日本語): 科学教育財団					
② 隊員勤務先名称: FUNDAEC CENTRO AGRO INDUSTRIAL 日本語名称(科学教育財団農業生産センター)					
所在地: ARROBLEDA 村 【本部=Cra.41 No.5-C-116 CALI】 主要都市(カリ市)から 5.5 キロ					
③ 事業規模及び内容: カリ市地域農民への農業技術振興にあたっている機関である。50人のスタッフからなり、農業センターには12名が養豚(主に農民に優良品種子豚=年産600頭の提供)、果実ジュースの生産(日産40Kg)、大豆の生産(計画中)等を行い、収益を農民への農産振興への低利貸し付けに振り向けている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい)カリ市に本部庁舎、ARROBLEDA 村に農業生産センターを持つ。同センターには、養豚畜舎及び養豚関係機種機材、ジュース生産設備、大豆用栽培農場を持つ					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 果実加工技術指導及び、大豆生産管理技術指導員					
② 技術の範囲: 果実加工技術指導及び、大豆生産管理技術					
③ 業務の形態: 現在、同センターでは、日産40Kgの果実ジュースの生産を行っているが、この技術を各果樹栽培農家に普及、更に同センターにて技術実地指導を行う。農家への技術巡回指導も重要な業務となる。勤務時間は午前8時から午後5時までである。大豆栽培に関しては、その収穫後の品質管理等の技術指導を行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 現在検討中					
⑤ 現地で利用できる機材: ジュース生産設備、大豆栽培農場、及びそれらに必要な一応の機材は整っている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
④ 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 果実加工関係技術経験者、及び大豆に関する加工経験者					
※ 事務局記入					

86-020

調査者氏名 沖野礼司

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ホンデュラス	(現地公用語) Procesamiento de Alimentos (日本語) 農産物加工 (161)	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1 人	63年9月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): INFOP: Instituto Nacional de Formación Profesional (日本語): 国立職業技術庁					
② 隊員勤務先名称: Oficina Regional Nor-Occidental 日本語名称(北西部事務所) 所在地: サンペドロ・スラ (San Pedro Sula) 主要都市(S.P.S.)から 2 キロ					
③ 事業規模及び内容: 各主要都市に INFOP 職業訓練校があり、様々な分野(農・工・商の各分野)で、産業振興の基礎となる人材養成を目的として講習会等を行っている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 教官					
② 技術の範囲: 現在のところほとんど機材が無い(農産物加工に関しては)ので、自分の手だけで行なう必要がある。(農村地帯においては特に)					
③ 業務の形態: 各主要都市にある INFOP に於て生徒を集め授業を行なう他、移動講習会の様に農村まで赴いて授業を行ったり、工場等へ行って技術指導を行なう。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年令: 対象者: 主に農産物加工業者 カウンターパート: 農業高校卒 25才					
⑤ 現地で利用できる機材: 限られる。					
⑥ 第3国人等の配置状況: スペイン、ドイツ、アメリカ					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ホンデュラスは 1 次産業を基幹産業としており、食品加工部門の開拓により、1 次産業の生産性向上と 2 次産業の振興が期待される					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○農業高校(食品関係学科)卒業以上。実務経験があることが望ましい。農産物の特性・加工工程を理論的に指導できるもの					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62年 9月 5日

87-018

調査者氏名 浜田 宇彦
小林 青夫 (調)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ホンジュラス	(現地公用語) Procosamitato de Productos Agrícolas (日本語) 農産物加工(161)	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	63年 9月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Secretaria de Recursos Naturales (日本語): 天然資源省					
② 隊員勤務先名称: Escuela Nacional de Agricultura 日本語名称(国立農業学校) 所在地: オランゴ県 カタマス 主要都市(フジガヤ)から20キロ					
③ 事業規模及び内容: 面積200ha弱生徒数約120名 教員数50名の3年制農業短大 全寮制 園芸科, 農業科, 畜産科, 農業機械科, 農業土木科 の各科を有する。(男子校)					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 園芸科の農産物加工部門(新設予定)の指導教官					
② 技術の範囲: 野菜, 果実の加工, 野菜利用促進のための 調理指導, 栄養改善指導					
③ 業務の形態: 午前の農場実習の時間に野菜を中心とした農産物の 加工を生徒に指導し, 午後は, 学校の食堂において 調理指導, 栄養改善指導を行なうと共に農民研修所等 利用しての家庭婦人, 農民に対する栄養改善指導を合せて 行なう。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 学生は高校を卒業した17~24才 までの男子。カウンターパートは当校卒業生で26才農産物加工の経験無し					
⑤ 現地で利用できる機材: オートクレーフ, 果汁採取機, 大型保冷庫					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し					
⑦ 使用する言語: スパイン言語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 野菜科では年間6ha程野菜を作物し 生産しているが消費が少なく供給品剩気味である。そこで 加工部門の新設と調理講習等による需要の拡大と併せて栄養改 善を希望している。期待は非常に大きい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大学卒 農産物加工学 利用学 もしくは栄養学の専攻者で栄養指導等の経験 者が望ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 9 月 10 日

87-110

調査者氏名 佐々木敏広

小林育夫(調)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ホンジュラス	(現地公用語) Confitería y Panadería	新規	(男) 1 人	63年9月	
	(日本語) (162) 製菓・製パン	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Instituto Nacional de Formación Profesional (INFOP)					
(日本語): 国立職業技術庁					
② 隊員勤務先名称: Oficina Regional Nor-Occidental 日本語名称(北西部事務所)					
所在地: サン・ペドロ・スーラ 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: 三大主要都市に事務所及び職業訓練校を置き、各県に、3か所、出張所がある。その各所において、農・工・商、各分野の人材養成を目的とした講習会を行なう。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 上記サン・ペドロ・スーラのINFOP事務所に、食品加工実習場があり、製菓製パン及び肉、乳、農水加工の為の設備と食品実験検査設備あり。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 教官					
② 技術の範囲: パン、菓子の全体。機材も何もないところでは、自分の手だけで行なう必要もあり、又工場等への技術指導も行なう。					
③ 業務の形態: ① 主要都市にあるINFOP内で外部の生徒を集め授業を行なう。 ② 移動講習会: 農村、或は工場等へ出張し、技術指導する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: カウンターパート: 年齢32才。今のところ技術力不足だが向上する可能性あり。					
⑤ 現地で利用できる機材: オーブン、はかり、スケッパ、ナイフ、フラスコ					
⑥ 第3国人等の配置状況: ドイツ人					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 製菓、製パン隊員も現在7人目であり、食品加工分野だと、常時4~5名活動している。現在受入先の期待は大い。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○3年以上の実務経験					
※ 事務局記入					

ホンデュラス事務所長 鶴巻法岳

記入 昭和 61 年 9 月 1 日

86-006

調査者氏名 井上 雅美

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ホンデュラス	(現地公用語) Conservación y Preparación de la Carne (日本語) (164) 畜産物加工	新規 (交) 替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) / 人	63年9月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): INFOP: Instituto Nacional de Formación Profesional (日本語): 国立職業技術庁					
② 隊員勤務先名称: INFOP 日本語名称(国立職業訓練所) 所在地: サン・ペドロ・スーラ(San Pedro Sula) 主要都市(S.P.S.)から 2 キロ					
③ 事業規模及び内容: 各主要都市に INFOP 職業訓練校があり、様々な分野で技術を身に付けさせるべく授業を行っている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容 教室内外に於て理論及び実習を行なう。又カウンターパートの養成					
① 隊員の業務上の地位: 教官					
② 技術の範囲: 農村地帯では機械も何も無く、自分の手だけで行なう必要があり、高度になると工場等での技術指導を深く行なう事が必要となる。					
③ 業務の形態: 各主要都市にある INFOP に於て生徒を集め授業を行なう。移動講習会の様に農村まで出向いて授業を行なう。また、工場等へ行って技術指導をする。また、今現在実験室を作るところであり、完成後は実験指導もすることになる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 学歴 高校卒程度 カウンターパートは'85年8月から'86年3月まで日本で研修したことがある					
⑤ 現地で利用できる機材: 活動の拠点となる San Pedro Sula の INFOP にはかなりの機材が揃っている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 協力隊の他、ミッションイスパニヤ、ドイツ等					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: '84年から移動講習会の方で食品加工についてのプロジェクトが新しく開始された。San Pedro Sula に食品加工実習場が建設され、この講座に寄せられる期待は大きい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): (大学農学部(畜産・食化・農芸化)卒) 経験年数3年位。 自動車免許					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

7004

記入 昭和 62 年 6 月 22 日

調査者氏名 川口勝貴

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名簿
セネガル	(現地公用語) Transformation des Produits de la Mer (日本語) 水産物加工	新規 交替	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	62年7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Secretariat d'Etat aux Ressources Animales, D.O.P.M. (日本語): 動物資源省, 水産局					
② 隊員勤務先名称: Projet des Pêches de Missirah 日本語名称 (ミシラにおける水産プロジェクト) 所在地: Missirah, dpt. de Fatick, Région de Fatick 主要都市 (Kaolack) から 82 キロ					
③ 事業規模及び内容: 日本の約5億円の無償によるインフラ整備, 機材供与が行なわれ, 水産物流通経路開拓, 漁具・漁法の改良, 水産加工物の品質向上, 漁民の組織化などを行なう地域振興プロジェクト (日本人水産専門家, 他の協力隊員1名, 水産局員3名, 漁師, マカックなど現地雇用人8名で構成)					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 冷凍車2台, 小型トラック2台, 冷蔵庫(3台), 保冷庫(1台), 発電機(15KVA), 船外機(40馬力1台, 25馬力1台, 8馬力1台), FRPボート2艘, 銅・ロープなどの漁具多数, 他87年中インフラ整備と他の機材供与される。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: プロジェクト内の技術アシスタント, 及びその他の員とプロジェクト全体の管理運営を行なう。					
② 技術の範囲: 干物 及び くん製品の技術と知識。ぬり製品の加工は行なわない予定。					
③ 業務の形態: 無償援助で供与される予定の干物場を利用して既存の干物技術の改良, 普及。又, Missirahでは行なわれていないくん製品の技術導入, 普及も行なう。さらにプロジェクトの機材を含む管理及び運営を既に配属されている, 漁具・漁法 隊員と共に行なう。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 干物加工人は主婦が中心であり, 初等教育を受けていない人が殆んど。既存の干物は品質がかなり悪い。					
⑤ 現地で利用できる機材: ・干物場と干物台48個 (1×4 m), (無償援助によりガラス張りされる予定)。 ・大型くん製釜 (無償により建設)。 ・他 (1) の④ に記した機材 ・冷蔵庫, 網修理場, 倉庫, 事務書, 宿泊施設など。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 協力隊員 1 名					
⑦ 使用する言語: フランス語 > 英語 > ソセー語 (マンディング系)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 85年終りより, Missirah を中心としたシサルム地方に, 日本による水産援助が行なわれ, 87年には, Missirah-主要幹線間の道路舗装などの各種インフラ整備, 機材援助などが, 約5億円の無償援助の下, 行なわれるが, このうち水産加工設備を使用できる専門家がいないうえ, 協力隊に要請したい。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):					
① 普通自動車運転免許					
又, 電気・水道のない所で暮らす, 協調性 (他の人の漁具・漁法 隊員との) があること。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 9 月 15 日

調査者氏名 マラウイ事務所長
奈良輪睦典

243-87-005

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マラウイ	(現地公用語) Forestry (日本語) 森林経営	新規 (交替)	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	63 年 8 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Forestry and Natural Resources (日本語): 森林天然資源省					
② 隊員勤務先名称: Viphya Plantations Division 日本語名称(ビビピア P.D.) 所在地: ムツンバ・キカンガ 主要都市(ムツンバ)から 70 キロ					
③ 事業規模及び内容: マラウイ北部 Viphya Plateau における約 53,500 ha の植林地を管理運営している。 本庁(経営, 計画, 調査-林業部門, 管理, 経理等-運営部門, 農場, 機械, 医療等の維持保守部門)及び6つの出先事務所にて約 2,300 名のスタッフ(職員 120 名)。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 事務棟, ワークショップ。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Forestry Research Officer.					
② 技術の範囲: 林業に関する一般知識及び統計学の知識, 実務。					
③ 業務の形態: Forestry Research Institute of Malawi (F.R.I.M) の1部門として配属先である Forestry Research Section がある。業務は蓄材調査結果データのとりまとめ, 統計処理後, 報告書の作成, 松, ユーカリの採種, 及び苗木養成, 採種園等の維持管理を行い, 同 Section の管理, 運営を行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材: 簡易測高機, 直径巻尺, 測量テープ, 携帯コンパス, 樹皮計測機(測高関係) 捕虫網, 顕微鏡, 捕虫保存用器具(病虫官関係), 自動車, 農耕用道具, 種子抽出機					
⑥ 第3国人等の配置状況: 英国人 (Manager, Officer, Nurse)					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
同土に比較的緑は多いものの, 有用材となると同 V.P.D. と他数ヶ所で生育しているに過ぎない, 近い将来, 合板工場の開設等予定されており, 供給資源の枯渇調査等多岐であるため, 隊員の要請が出されているが, 現地人スタッフも留学等で育てており, 統計等隊員にはデスクワーク正確さが求められている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
① 大卒以上(林学) 2 統計に関する知識 3 英語力					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 9 月 2 日

調査者氏名 奥 村 浩 一

87-002

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
COLOMBIA	(現地公用語) SILVICULTURA TROPICAL (日本語) 170 森林経営	新規 交 替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	1988 年 3 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): CORPORACION NACIONAL PARA EL DESARROLLO DEL CHOCO-CODECHOCO- (日本語): チョコ州地域開発公社					
② 隊員勤務先名称: CORP. NAC. PARA EL DESARROLLO DEL CHOCO 日本語名称(チョコ州地域開発公社) 所在地: Cra. 1A No. 22-96 QUIBDO, CHOCO (カマンテアトラ) 主要都市(キブド)から 80 キロ					
③ 事業規模及び内容: 当開発公社は、チョコ州の地域開発事業に取り組んでいる。植林部門では現在1名の隊員がアンティオキア州境地域を中心に森林管理、植林事業を行っている。将来、植林事業は当開発公社の中心となる事業で、現在隊員を中心に開発プロジェクトを作成、地域住民への啓蒙活動を展開中である。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい) 公社本部建物(キブド市)、資源部事務所(キブド市)、その他森林・漁業関係事業所(州内6箇所)、カマンテア村事業所には隊員の造成した種苗場がある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: カマンテア村プロジェクト事業顧問、チョコ州開発公社森林部門管理顧問					
② 技術の範囲: チョコ州全般にわたっての森林管理、植林事業推進					
③ 業務の形態: カマンテア村プロジェクト事業所にて、種苗栽培を行うとともに、同地域住民への技術指導を行う。又同開発公社森林部門顧問として、同公社森林プロジェクトへの指導助言を行う。勤務時間は特に設定されていないが、公社一般事務は午前9時～午後5時までである。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 現在のところ未定					
⑤ 現地で利用できる機材: カマンテア村事業所種苗畑、ジープ(本部)、その他					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当公社は、チョコ州地域開発の事業を行っているが、当地はコロンビアでも最も経済的に貧しい地域であり、公社も財源難でその経営が苦しいのが実情である。天然資源には割合恵まれており、金銀鉱山を始めとして開発が行われている。又森林・漁業資源にも恵まれているが、その運搬方法が未整備の為有効に活用できず、地域住民の経済的基盤向上のネックになっており、それらの総合開発を含めての日本からの地域住民への技術向上指導等、協力を期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 森林経営関係実務経験者が望ましい。更に森林組合の指導も行うところから、同経験や知識のある者が望ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 8 月 24 日

調査者氏名 守部 山 崇史

8700/

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
トガ王国	(現地公用語) Forestry (日本語) 170 森林経営	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 人	63年 8月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): 'ATENSI INSTITUTE (日本語): アテニシ インSTITUTE					
② 隊員勤務先名称: Agriculture Division 日本語名称(農業部) 所在地: Nukualofa 郊外 主要都市(ヌクアロファ)から 2 キロ					
③ 事業規模及び内容: 4つの Division を持つトガ唯一の私学。 Highschool Div. 約 400名 University Div. 約 60% Technical Div. 12 Staff 17名, Agriculture Div. 12 staff 12名					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 農業部 chief director.					
② 技術の範囲: 林業一般 土木一般					
③ 業務の形態:					
① 湿地造林地での適正種選抜試験研究					
② 一般林学の講義(学内)					
③ 植林普及指導(学外)					
④ 苗畑維持管理					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 小中学校卒. 25才. 男 実務約2年					
⑤ 現地で利用できる機材: グラスカッター, 測量器具(コンパス, スタッフ等) 基本的な道具(ブッシュナイフ, スタッフ等)					
⑥ 第3国人等の配置状況: フリカ, イキリス, アストリア, インドネシア. 6名 講師					
⑦ 使用する言語: 英語, トガ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
トガでは, 近年急速に, 森林の減少を恐れている。その為先ず湿地での植林に適する樹種の選抜試験をトガ森林局と共同で行っている。その上で日本人ボランティアは, 試験研究並みに普及指導の面で期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大学林学科卒以上 実務経験があること					
※ 事務局記入 170					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62年 2月 日

調査者氏名 小林裕之
白石克巳

03187015 171 森林保護

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア (サバ)	(現地公用語) Forest Hydrology (日本語) 森林水文学(171)	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	63年8月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Forest Department Sabah (Jabatan Perhutaran Sabah) (日本語): サバ州森林局					
② 隊員勤務先名称: Forest Department Headquarters 日本語名称(森林局本部) 所在地: マイレ 6, サンダカン市 主要都市(サンダカン)から 10キロ					
③ 事業規模及び内容: サバ州の森林行政の中心。 行政部(administration)と管理部(management)があり管理部の人員は総計約490名。 管理部の元に 地図、資源調査、森林土木、森林計画、収穫、造育林の課があり、隊員は森林土木課に所属。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 全館冷房完備。大会議室、食堂、コンピュータ、コピー機、森林博物館等あり。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Forest Management Officer					
② 技術の範囲: 水文学(森林流域試験)及びコンピュータ・プログラミング(FORTRAN)に関する知識及び経験					
③ 業務の形態: ・外業(Field Work) 月1回約1週間現地スタッフと共に試験地へ出張し、観測機器(雨量計、水位計等)の維持管理及び諸観測を行う。 ・内業(Office Work) 試験地より持ち帰ったデータの解析をコンピュータを利用して行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 現在カウンターパートなし。電請中。					
⑤ 現地で利用できる機材: 自記雨量計(三田計器製作所, 日本), 自記水位計(Leopold & Stevens 社, アメリカ), 自動採水器(Automatic Liquid Samplers Limited, イギリス), コンピュータ(Data General 社, アメリカ)機種名 ECLIPSE C150, 使用言語 FORTRAN IV					
⑥ 第3国人等の配置状況: 本部にカナダ・イギリス・ボリネア各1名, イギリス人コントラクター1名。					
⑦ 使用する言語: 英語(及びマレー語)(50%, 50%)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 森林伐採による林地の荒廃及び下流域への影響を評価するため 1979年に森林流域試験の計画が立てられ、イギリス人コントラクターの比 1985年より本格的観測開始。イギリス人コントラクターは道路建設が専門であり水文学の専門家もJOLVに電請の機会になり前任者派遣。この種のプロジェクトは長期にわたる継続観測が必要であり後任の電請と存。期待度大。					
(4) 隊員の資格・条件(特が条件について○印で明記)					
(大学卒) 水文学専攻者または森林流域試験経験者, コンピュータ(特にFORTRAN)に関する知識及び経験					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 9 月 24 日

調査者氏名 新川 達

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ネパール	(現地公用語) Agro-Forestry (日本語) 植林 (アグロ・フォレストリー)	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	63年7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): King Mahendra Trust for Nature Conservation. (日本語): 自然保護、キング・マヘンドラ・トラスト					
② 隊員勤務先名称: Annapurna Conservation Area Project 日本語名称 (アナルプナ保護地域計画) 所在地: Ghandruk 主要都市 (ポカラ) から 20 キロ					
③ 事業規模及び内容: アナルプナ地域 2600km ² の自然保護活動 森林・野生動物保護、自然エネカー利用、村落開発、自然保護教育、旅行者対策					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 技術普及員					
② 技術の範囲: 植林技術 農業知識					
③ 業務の形態: 地域住民に対し、飼料木及び薪炭木の植林指導を行なう。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 地域住民。					
⑤ 現地で利用できる機材: 不明					
⑥ 第3国人等の配置状況: 不明					
⑦ 使用する言語: ネパール語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: エネカーの96%を森林から得ているネパールでは、森林破壊から生ずる土壌流出等の問題がクローズアップされており、当国の自然保護及び住民生活の安定のためには薪炭木の造成と飼料木の普及が緊急の課題とされている。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 大学卒 林学科、 アグロ・フォレストリーの知識あり					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

86003

記入 昭和 60 年 9 月 24 日

調査者氏名 齋藤 良夫

174 植林

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
COLUMBIA	(現地公用語) Fisiologo Vegetal (日本語) (植物生理学)	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1 人	60年5月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語) Instituto Nacional de los Recursos Naturales Renovables (日本語): 自然資源庁					
② 隊員勤務先名称: 同庁 森林振興部 DIV. DE FOM 且 名称 FORESTAL) 所在地: Diagonal 34 No. 5-16 主要都市(Bogota)から キロ					
③ 事業規模及び内容: 森林局の下部組織、天然資源の保存、保護、調査、振興及び行政の広範囲な事業を行う					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 動植物研究所、病理、昆虫、森林栄養、種子の研究所、温室、樹木、車両、必要機材					
(2) 隊員の業務内容 樹木種子の植物生理面における基礎的調査開発(特に発芽前処理保存システム)					
① 隊員の業務上の地位: 専門家 Profesional Especializado (種子保存)					
② 技術の範囲: 種子の生理 (Fisiología de Semillas) (特に熱帯のもの)					
③ 業務の形態: 上記の通り、INDERENAの研究室において、P-協力と併せて樹木、種子の発芽試験、乾燥試験等を行い、林業開発に努めます。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
森林技師 種子バンクに7年の経験あり 32歳					
⑤ 現地で利用できる機材: 圧カバラス 発芽温室(3) 顕微鏡等					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: コロンビアの林木の種子に関する生理面のプロダクツを知らず、いかにして保存する、乾燥方法、発芽前処理について決定する必要がある。コロンビアは植物生理の専門家不足であり、基礎調査プログラムを実施することを期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
森林種子(熱帯の草木)に関する広い経験と有する森林技師、植物生理学及び植物学者又は応用学者					
※ 事務局記入				173	

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

86004

記入 昭和 60 年 9 月 24 日

調査者氏名

174 植林

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
COLOMBIA	(現地公用語) Cultivo de Tejidos Vegetales (日本語) (植物せん維栽培)	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1 人	85年5月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): INDERENA (日本語): 自然資源庁					
② 隊員勤務先名称: 同庁 森林振興部 日本語名称() 所在地: Diagonal 24 No.5-16 主要都市(BOGOTA)から キロ					
③ 事業規模及び内容: 農林省の下部組織であり、天然資源の保存、保護、調査、振興 行政の之範囲な事業を行なう					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 新植物研究所、病理昆虫、森林栄養 種子の研究 温室、スベ、車輛、必要機材					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 専門家 Profesional Especializado					
② 技術の範囲: せん維植物(熱帯林種)の栽培に関する専門知識を有する 森林関係技術又は生物植物、農学者					
③ 業務の形態: コロンビア産の減少の危険にあるせん維植物を化学的手段により増殖し、将来のせん維植物の工業化を図るものである。 (せん維植物 --- VIROLA SEBIFERA, VIROLA DIXONII, VIROLA FLEXUOSA, CARINIANA PYRIFORMIS)					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 特殊な森林についての遺伝学及び地理学上の研究を行っており、熱帯植林経験11年 33才					
⑤ 現地で利用できる機材: 顕微鏡、温室 その他					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: スパイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 特殊な 伝統的な方法による増殖が非常に難しく、且、種子が特殊に多く、せん維植物を増殖するに必要とする減少の危険に及ぶため、重要である。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): せん維植物の栽培(熱帯林)の専門知識を有する森林関係技術、生物植物、農学専攻のもの					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

86-109

記入 昭和 62 年 2 月 1 日

調査者氏名 小堀 泰之

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
パラグアイ	(現地公用語) Replantación forestal (日本語) 植 林 174	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	63年2月 (62年2次隊)	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministerio Agricultura y Ganaderia, Servicio Forestal Nacional (日本語): 農牧省林野庁					
② 隊員勤務先名称: Municipalidad de Villa Florida 日本語名称(ビジャフロリダ市役所) 所在地: ミシヨネス県ビジャフロリダ市 主要都市(アスンシオン)から170キロ					
③ 事業規模及び内容: 人口3,200人。戸数500戸の小規模市。1984年8月ビジャフロリダ市の350ha分の植林計画が作成され、7年計画で年50haを植林する。市内の公園や河岸にも植樹計画。現在1haの樹木育苗園でユーカリ、マフ、ラパチヨ等の苗を育成中。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 樹木育苗園等 (別添写真)					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 植林技士					
② 技術の範囲: ユーカリ、マフ、ラパチヨ等樹木の育苗、植栽、管理。応用力のきく、残った広い知識が要求される。					
③ 業務の形態: 苗木圃場の維持管理、市内公園、河岸、近郊の植林場への植樹。林野庁より出向の植林技士と共同で作業を進める。植林計画へのアドバイスを行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 28才 高校卒。育苗、植樹の経験あり					
⑤ 現地で利用できる機材: 簡単な小農具、圃場用水槽、ロープ(12mm用)					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 全国的規模で植林計画が進行中であるが、当地正に於ても、輸出材及び、環境保全の為の植林が企画されている。当地区中央に国道1号線が走り、水浴のできる美しい川を保有している事から、将来はリゾート地区として発展することが期待されている。隊員には市挙げての本計画推進の為、広い範囲での指導も期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): <u>農業大学(農学専攻)又は農業高校卒</u> <u>植林を学んだ者</u> 、 <u>植林の経験絶対必要(2年以上)</u>					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

86-105

記入 昭和 62 年 2 月 20 日

調査者氏名 奥 村 浩 一

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
COLOMBIA	(現地公用語) INDUSTRIA FORESTAL (日本語) 175 170 森林経営 (木材伐採・運搬)	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	1988 年 3 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): CORPORACION NACIONAL PARA EL DESARROLLO DEL CHOCO-CODECHOCO- (日本語): チョコ州地域開発公社					
② 隊員勤務先名称: CORP. NAC. PARA EL DESARROLLO DEL CHOCO 日本語名称(チョコ州地域開発公社) 所在地: Cra. 1A No. 22-96 QUIBDO, CHOCO 主要都市(キブド)から --- キロ					
③ 事業規模及び内容: 当開発公社は、チョコ州の地域開発事業に取り組んでいる。殆どの地域は熱帯樹林で覆われており、森林経営が当開発公社の中心になっている。現在は、森林関係の地方の組合への技術指導等を行っているが、交通の便の悪さや経済基盤がないため、開発計画が思うように進まないのが現状である。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい) 公社本部建物(キブド市)、資源部事務所(キブド市)、その他森林・漁業関係事業所(州内6箇所)、ジープ、ランチ、その他					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: BELLAVISTA (QUIBDO市ATRATO川を3時間下った地域) 木材組合技術顧問及び本部顧問					
② 技術の範囲: 木材伐採から運搬、製材技術の指導、組合育成への指導助言					
③ 業務の形態: BELLAVISTA木材組合にて木材伐採から運搬、製材技術の指導、組合育成への指導助言等を行うと共に、本部に於て、地域での林業育成計画作成、助言を行う。本部での勤務時間は8:00~5:00である。					
対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 現在のところ未定					
⑤ 現地で利用できる機材: BELLAVISTA木材組合製材所、水路木材運搬用船舶、事業所所有車、その他					
⑥ 第3国人等の配置状況: 青年協力隊員1名					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当公社は、チョコ州地域開発の事業を行っているが、当地はコロンビアでも最も経済的に貧しい地域であり、公社も財源難でその経営が苦しいのが実情である。天然資源には割合恵まれており、金銀鉱山を始めとして開発が行われている。又森林・漁業資源にも恵まれているが、その運搬方法が未整備の為有効に活用できず、地域住民の経済的基盤向上のネックになっており、それらの総合開発を含めての日本からの地域住民への技術向上指導等、協力を期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 林業(伐採・製材)実務経験三年以上で、運搬技術の知識を有する者。組合等の経験や知識のある者が望ましい。					
※ 事務局記入					
176					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 8 月 日

調査者氏名 大堀尚己

白石克己

03/87016

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア サバ州	(現地公用語) Wood Chemist (日本語) (177) 林産加工(木材化学)	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1 人	63年7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Forest Department Sabah (日本語): サバ州森林局					
② 隊員勤務先名称: Forest Research Centre 日本語名称(森林研究所) 所在地: サングカン市 セピロック 主要都市(サングカン)から 25 キロ					
③ 事業規模及び内容: 15の研究セクションがあり、森林及び木材の研究を行う。Officer 13名、Assistant officer 10名、Staff members 約100名、Labourers 約200名。 年別予算 300万M\$ (1億2000万円)					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 化学実験室、図書館、植物標本室、昆虫標本室、木材標本室、樹木園、製材工場、苗圃、森林学校、コンピュタールーム、サバ州内各地に試験地、新実験棟建設中					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Research officer (Wood Chemist)					
② 技術の範囲: 木材化学分析に関する知識及び実験技術、特に TAPPI法による木材成分の定量、抽出成分(主にフェニール類)の分析					
③ 業務の形態: Assistant officer 及び Staff に対し、実験の指導を行いつつ、研究を進める。研究内容は前任隊員からの継承であり、現在次の2つの方向に行っている。 1) 木材成分の定量分析: 主に TAPPI法に基づく。対象樹種は産林樹種及び商業樹種、定量項目は各種抽出物、灰分、シカ、ホルムアルデヒド、リグニンなど12項目。 2) 化学的方法による樹種識別: 木髄や解剖学的方法では識別のむづかしい樹種について、化学成分による識別方法を開発する。対象はアガベガキ科、手法は呈色反応、70℃マクログラフターなど。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: Section Head は 大学卒(生化学専攻)、サバ州人、女性、25才くらい(?)。Assistant (直接の指導対象) は 高卒(Form 6)、中国人、女性、20才(?)					
⑤ 現地で利用できる機材: 化学天秤、オーブンドライヤー、マッフル炉、分光光度計(シングルビーム)、ソックスレー抽出器、ロータリーエバポレーター、ガラス器具各種、試薬各種(以上既存)、ゴールドパス、TLC及びH ¹⁸ -1 ⁹ -70マクログラフターキット、UVランプ、写真撮影機材(以上1987年購入予定)					
⑥ 第3国人等の配置状況: マラヤム ボランティ 2名					
⑦ 使用する言語: 英語(マレーシア語を自習しておくことが望ましい)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: Chemistry Section は 1982年に設立され、主に土壌の分析などを行ってきた。1986年から JOCV 隊員により木材化学の研究が始まり、現在上記の研究を行っているが、Assistant officer 及び Staff についてはまだ技術蓄積が乏しく、指導者の派遣が必要である。木材輸出が減少し合板輸出に切りかわる、マレーシア初の紙パルプ工場が操業を開始する(1987)といった状況の中で、木材化学部門に対する将来的期待は大きい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大学卒 (林産学科又は林学科で木材化学又は林産化学を専攻していること) で、または 修士課程 修了者					
※ 事務局記入					
177					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 3 月 7 日

調査者氏名 熊野秀一

25-86-009

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニア	(現地公用語) Fishing Gear and Methods (日本語) 漁具漁法	新規 交替	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education, Science and Technology (日本語): 教育科学技術省					
② 隊員勤務先名称 Ramogi Institute of Advanced Technology 日本語名称(ランギ高等技術専門学校) 所在地: キスム 主要都市(キスム)から キロ					
③ 事業規模及び内容: 現在建築科(配管、木工、石工)、工業科(電気工事、ラジオテレビ修理、自動車工学)科があり、生徒数 600 名、教師 32 名。漁業科は開設計画中。設立は 1974 年					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 上記既設学科は充分な設備があるが、漁業科はキスム市から提供された湖岸の土地と仮家屋があるのみ。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 漁業科講師(現在のところ同科講師は一人も居ない)					
② 技術の範囲: 漁具漁法の基本的な知識、小型造船の知識も有れば望ましい。					
③ 業務の形態: 学科の形態を中学校卒業者を対象とした 2〜3 年の常設コースにするか、近辺の小卒程度の漁民を自慢た数ヶ月程度の短期コースにするかは未定。生徒を集めて教室で漁具漁法の基本的知識を講義し、簡単な実習を行なう。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 中卒または小卒					
⑤ 現地で利用できる機材: キスム水産局事務所(隊員派遣中)からボート等を借りられるかもしれない					
⑥ 第3国人等の配置状況: カナダ人建築学科講師数名					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 同地が面しているウイクトリア湖沿岸は豊富な水産資源を有している。沿岸に住むルオ族はケニアで第2もしくは第3の人口を有している指導的有部族の1つで、伝統的に漁業を営む。ただしその漁法はまだまだ開発の余地がある。現在ケニア政府は有力なタンバク産として魚を禁輸しており、魚を食べる人口が増えつつある。同地での水産業開発は以上のように必要性が高い。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 専門学校等で正規の漁具漁業学の教育を受けたもの					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

15010

記入 昭和 60 年 4 月 15 日

調査者氏名 鈴木敬一

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
セネガル	(現地公用語) Appareils et Methodes de Pêche (日本語) 181 漁具漁法	新規 交替	(男) 1 人 (女) 1 人 (男女不問) 1 人	62年7月	3名中
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministère du Développement Social (日本語): 社会開発省					
② 隊員勤務先名称: Centre de Pêche 日本語名称(漁業センター) 所在地: Goudomp 主要都市(Ziguinchor)から 50 キロ					
③ 事業規模及び内容: 生徒数 10~20名 に対しての 漁労指導					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): ヒローグ 2, 船外機 1, 漁網(引網 1, 刺網 1) 他機関の所屬ではあるが ヤマハプロダクトボート 干物台, くん製室 常時借用可能					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Centre de Pêche 教師(漁労指導員)					
② 技術の範囲: 漁法(引網, 刺網等)の指導					
③ 業務の形態: 石井修生と共に 出漁し 漁労指導を行う 出荷に関し 助言する 簡単な加工指導も行う					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 大部分が 投網漁経験者(網の修理は出来る) 年齢 25~35才					
⑤ 現地で利用できる機材: ヒローグ 2, ヤマハボート 1, 船外機 2, 漁網, 加工用包丁, 磁石, ボーメータ等					
⑥ 第3国人等の配置状況: ナン					
⑦ 使用する言語: フランス語, アンディンク, バラント ティオラ(現地語)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在, 漁法に関して 豊かな知識, 技術を有する者か あるいは 地引き網に 対し 漁に 頼っている 状態 であるので 他の 漁法 漁具 の 指導を (石井修生 に対し) 望んでいる					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 漁具漁法の知識を有する者, 船外機 加工(主に くん製)に関して 簡単な知識を有する者, (大卒)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

86005

記入 昭和 61 年 9 月 10 日

調査者氏名 奥村浩一

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
COLOMBIA	(現地公用語) METODOS DE PESCA ARTESANAL (日本語) 181. 漁具漁法	新選 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	60年 7 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): CORPORACION AUTONOMA REGIONAL DE LOS VALLES DEL SINU (日本語): シヌ・サンホセ川流域地域開発公社 Y DEL SAN JORGE. -C.V.S.-					
② 隊員勤務先名称: OFFICINA DE AMAYA -C.V.S.- 日本語名称 (C.V.S. アマヤ 漁業事業所) 所在地: AMAYA, CORDOBA 主要都市 (MONTERIA) から 105 キロ					
③ 事業規模及び内容: CORDOBA 県シヌ・サンホセ川流域地域の、地域開発を担当している自治開発公社であり、事業内容は農・工・水・林・鉱業等、広範にわたっている。同事業所では、シヌ・タ湾に於ける地域 150漁民に対する漁業技術指導、養殖指導等を担当している。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): (別添付写真参照) 事務所棟、管理人棟兼倉庫、協力隊員用宿舍棟、船外機、ボート 3 隻、海老養殖池、養魚槽、その他漁業関係道具等。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 漁業技術指導員。嘱託事業所長。					
② 技術の範囲: 沿岸漁業技術一般。カヌー(2~4人乗)が漁民一般が利用している魚船であり、その規模での漁業技術の移転					
③ 業務の形態: シヌ・タ湾岸 150漁民への定期的漁業技術研修会の開催、及び巡回指導。事業所組織の在り方、又 CVS の漁業指導の在り方についての答申、運営についての提言・助言を行う。事務所兼宿舍は、シヌ・タ湾岸アマヤ事業所にあり、常駐の形での職務である。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 海洋生物学専攻者 1 名、所長、機械関係技術者、漁具関係労働者、他					
⑤ 現地で利用できる機材: 漁船、船外機(5台)、ナイロン漁網、釣具等					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 今まで、従来からの伝統技術に頼っていた漁法の近代化を行うべく、事業所設備も政府援助により更新し、又、将来にわたってかなり設備拡充が予定されているが、この種の技術者が皆無であり、日本の技術援助に寄せる期待は大である。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 漁具漁法に関する技術経験者					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

86006.

記入 昭和 61年 9月 10日

調査者氏名 奥村 浩一

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
COLOMBIA	(現地公用語) PESCA ARTESANAL (日本語) 18L. 漁具運送	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	61年 9月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): CORPORACION AUTONOMA REGIONAL PARA EL DESARROLLO DE NARIÑO. -CORPONARIÑO- (日本語): ナリニョ 県地域開発公社					
② 隊員勤務先名称: CORPONRINO TUMACO OFICE 日本語名称(トマコ事業所)					
所在地: CALLE DEL COMERCIO. EDIFICIO VIVEROS 2o PISO トマコ市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: CORPONRINOは、3年ほど前に創られた開発公社であり、県全体の地域の経済開発を目的としており、その管轄分野は、農・工・水産・林業等多岐に及んでいる。漁業事業は、このトマコ事業所が太平洋岸のBOCA DE SANTINGA事業所、CHARCO 事業所の二つを統括し、共に漁業振興に当たっている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): (添付写真参照) 共同組合事務所、製氷設備、冷凍庫(8トンの冷蔵及び、10トンの冷凍設備)、漁船2隻、波止場及び倉庫6棟。他にカヌーがある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 漁業共同組合技術顧問					
② 技術の範囲: 地域1500漁民に漁具漁法技術を指導すると共に、漁業共同組合の管理、運営を担当する。					
③ 業務の形態: 当トマコ地区には約1500人の漁業従事者がおり、カヌーを利用した沿岸漁業がその中心である。トマコ市を中心とする漁業従事者への漁法指導、或は他2箇所の事業所の巡回指導が仕事の中心となるが、漁業共同組合の指導もあわせて行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 現在調整中					
⑤ 現地で利用できる機材: 事務所、漁業共同組合設備、及び地方事業所設備(ランチ、漁網等)					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 今回の要請は約2年程前より計画されていたもので、既に現地での受入れは準備が完了している。日本の漁業技術については、当方ではよく知られており、その期待も大きい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 沿岸漁業技術者					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62年 2月 20日

86-106

調査者氏名 奥村 浩 一

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
COLOMBIA	(現地公用語) PESCA ARTESAL	新規	(男) 1人	1988年 3月	
	(日本語) 181. 漁具漁法	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語) : CORPORACION NACIONAL PARA EL DESARROLLO DEL CHOCO-CODECHOCO-					
(日本語) : チョコ州地域開発公社					
② 隊員勤務先名称 : CORP. NAC. PARA EL DESARROLLO DEL CHOCO 日本語名称(チョコ州地域開発公社)					
所在地 : Cra.1A No. 22-96 QUIBDO, CHOCO 主要都市(キブド)から --- キロ					
③ 事業規模及び内容 : 当開発公社は、チョコ州の地域開発事業に取り組んでいる。漁業部門ではソラノ湾に於てチョコ大学漁業学校と協力し地域漁民への技術指導を行っており、現在 500名の実習生が受講している。チョコ州では交通の便の悪さや経済基盤がないため、開発計画が思うように進まないのが現状である。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい) 公社本部建物(キブド市)、資源部事務所(キブド市)、その他森林・漁業関係事業所(州内6箇所)、ランチ2隻、船外機付ボート4隻、冷凍庫(4~5ト)、一般実験設備、その他					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位 : ソラノ湾(太平洋岸BAHIA SOLANO市)事業所及びチョコ大学漁業技術学校での指導教官					
② 技術の範囲 : 沿岸漁業技術、簡単な加工技術の指導、組合育成への指導助言					
③ 業務の形態 : ソラノ湾(太平洋岸)事業所及びチョコ大学漁業技術学校に於て、沿岸漁業技術の指導を行うと共に、ソラノ湾沿岸地域漁民への巡回指導を行う。学校での勤務時間は8:00~5:00であるが、巡回指導時にはこの限りではない。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年令 : 現在のところ未定					
⑤ 現地で利用できる機材 : 事業所所有船外機付ボート、ランチ、チョコ大学ソラノ学校実験設備、教室、その他					
⑥ 第3国人等の配置状況 : なし					
⑦ 使用する言語 : スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待 : 当社は、チョコ州地域開発の事業を行っているが、当地はコロンビアでも最も経済的に貧しい地域であり、公社も財源難でその経営が苦しいのが実情である。天然資源には割合恵まれており、金銀鉱山を始めとして開発が行われている。又森林・漁業資源にも恵まれているが、その運搬方法が未整備の為有効に活用できず、地域住民の経済的基盤向上のネックになっており、それらの総合開発を含めての日本からの地域住民への技術向上指導等、協力を期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと) : 沿岸漁業実務経験三年以上で、魚加工技術の知識を有する者。組合等の設立の動きもあるところから同経験や知識のある者が望ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

末着

記入 昭和 62 年 5 月 27 日

調査者氏名 谷口 世玉子

404-86-112

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィジー	(現地公用語) Fishing Gear and Methods (日本語) 漁具漁法	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	63年 / 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Rural Development (日本語): 地方開発省					
② 隊員勤務先名称: Distric Office 日本語名称() 所在地: 調査中 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: フィジー東南部に位置する島々を受け持つ、この地方開発省の東部事業所					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 調査中					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 地方行政官と同格、漁具漁法の指導者として					
② 技術の範囲: 漁具漁法、船外機修理					
③ 業務の形態: 管轄内の島々へ行き、漁業に携わっている人達に新しい漁法の指導とアドバイスをし、漁具のメンテナンスと修復の指導もする。 船外機の修理とメンテナンスも指導する。 小さな島々への出張が頻りに多いため、文化的な生活が出来ない人。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 不明					
⑤ 現地で利用できる機材: 不明					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: 英語 フィジー語 ヒンズー語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 地方開発に力を入れているが、技術指導者が不足している事が、フィジーの深刻な問題である。日本の優秀な技術者に大きな期待が寄せられている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 水産高校卒以上、経験3年以上。 船外機の修理が出来ること。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 3 月 17 日

調査者氏名 山下 煥治

86105

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
PNG	(現地公用語) Fisheries Extension	新規 交替	(男) 1 人	62 年 3 月	
	(日本語) 魚貝漁法 181		(女) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Dept of West Sepik					
(日本語): 西セピク州					
② 隊員勤務先名称: Division of Primary Industry 日本語名称(第一次産業局)					
所在地: ワラニ ワラニ 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: 政府機関の漁業普及所の運営。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 漁具、冷凍庫など。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Extension Officer					
② 技術の範囲: 魚貝漁法一般					
③ 業務の形態: カヌーや船外機付カヌーを使って漁業に従事する人々に対し、 漁網の使用法、修理の仕方、漁獲方法、漁獲物保存法など について指導を行う。 又、他の現地人材に対しては全般に渡り訓練を行う。 魚貝漁法。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 大学水産学部又は水産科高校卒					
⑤ 現地で利用できる機材:					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし。					
⑦ 使用する言語: 英語、ポデシ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: JICA が行う第3国研修(沿岸漁業研修)に参加した者が日本の 漁法、日本人指導者による漁具の貸与、長期間に渡り技術指導 を期待する。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 経験 5 年以上 又は 大卒					
※ 事務局記入					